建築確認（設備編）参考標準図等

２０１５年版

近畿建築確認検査協会

運営部会設備ＷＧ

建築確認申請（建築設備）の参考標準図等の取扱いについて

建築物の確認申請においては、申請書に添える図書やその明示すべき事項等について、建築基準法施行規則第１条の３に規定されており、過去には、平成１８年の法改正にともない、従前の明示事項の大幅な見直しが行われ、いわゆる、確認検査の厳格化が図られました。

それ以降、平成 22 年及び平成 24 年に確認手続きの運用改善が行われ、添付図書等の見直しが行われましたが、現在でも、建築設備に関する各種の構造詳細図や計算書等の添付が求められており、確認申請時において詳細な計画や十分な準備をする必要があります。

本書は、確認申請書に添付していただく図書や明示すべき事項として、一定の標準的なものを取りまとめています。

建築設備に関わる設計者の皆様におかれましては、より効率的に、より統一した申請図書を作成していただくために、本書をご活用いただければ幸いです。

本書のご使用にあたり、次の点にもご留意してください。

⑴ 本書は確認申請に添付すべき図書について、一例を示した参考標準図となっています。

⑵ 本書は添付していただく図書について、建築基準法施行規則第１条の３に基づき、明示すべき事項を取りまとめています。

⑶ 本書は平成１９年国土交通省研修資料で採用した「３階建て共同住宅」をベースとし、図書作成上の注意事項等を明記しております。

⑷ 本書の構成は、①建築意匠図（抜粋）②電気設備図　③機械設備図　④建築基準法施行規則第１条の３一覧表【抜粋】　⑤設備関係図書の記載例　⑥設備関連規定の参考図書一覧になっています。

⑸ 昇降機設備、合併処理浄化槽については、規模や地域性等による要因があるため省略しています。

⑹ 明示すべき事項で、矢印で示すものはその部分を示し、矢印のないものは図面全体を示しています。

＊なお、各特定行政庁においては、取扱いが異なる場合がありますので注意してください。

平成 28 年３月

近畿建築確認検査協会
運営部会設備WG

目　　次

１．建築意匠図
概要・付近見取図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１
配置図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２
１階平面図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３
２～３階平面図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４
屋根伏図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５
南・北立面図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６
東・西立面図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７
断面図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８
室内仕上表（３）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９
有効開口部及び有効換気量計算表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０

２．電気設備図
幹線系統図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１１
単線結線図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２
幹線・動力設備１・２階平面図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１３
幹線・動力設備３階平面図・屋根伏図・・・・・・・・・・・・・・・・・・１４
共用電灯・コンセント設備１・２階平面図（非常用の照明装置）・・・・　１５
共用電灯・コンセント設備３階平面図・屋根伏図（非常用の照明装置）・　１６
防火戸制御設備系統図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１７
防火戸制御設備１・２階平面図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１８
防火戸制御設備３階平面図・屋根伏図・・・・・・・・・・・・・・・・・・１９
雷保護設備１階平面図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２０
雷保護設備屋根伏図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２１
雷保護設備東・北立面図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２２
雷保護設備機器詳細図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２３
単線結線図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２４
結線図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２５
自家発電設備出力計算書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２６
防火区画等を貫通詳細図（参考図）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２７

３．機械設備図
シックハウス計算書・建築材料表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２８
機械換気設備図１階平面図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２９
機械換気設備詳細図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３０
換気設備仕様・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３１
標準仕様図（１）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３２
標準仕様図（２）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３３
標準仕様図（３）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３４
配管設備図系統図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３５
配管設備図ピット階平面図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３６
配管設備図１階平面図（給水・ガス）・・・・・・・・・・・・・・・・・・３７
配管設備図１階平面図(排水)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３８
配管設備図２・３階平面図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３９
配管設備図屋根伏図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４０
配管設備図・機械換気設備図　住戸詳細図・・・・・・・・・・・・・・・４１

（ 資 料 編 ）別冊

４．建築基準法施行規則第１条の３第１項の表２等【抜粋】・・・・・・・・・　４２
５．設備関係図書の記載例【(一財) 建築行政情報センター（ＩＣＢＡ)】・・・　７０
６．設備関係規定の参考図書一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２９

01 概要

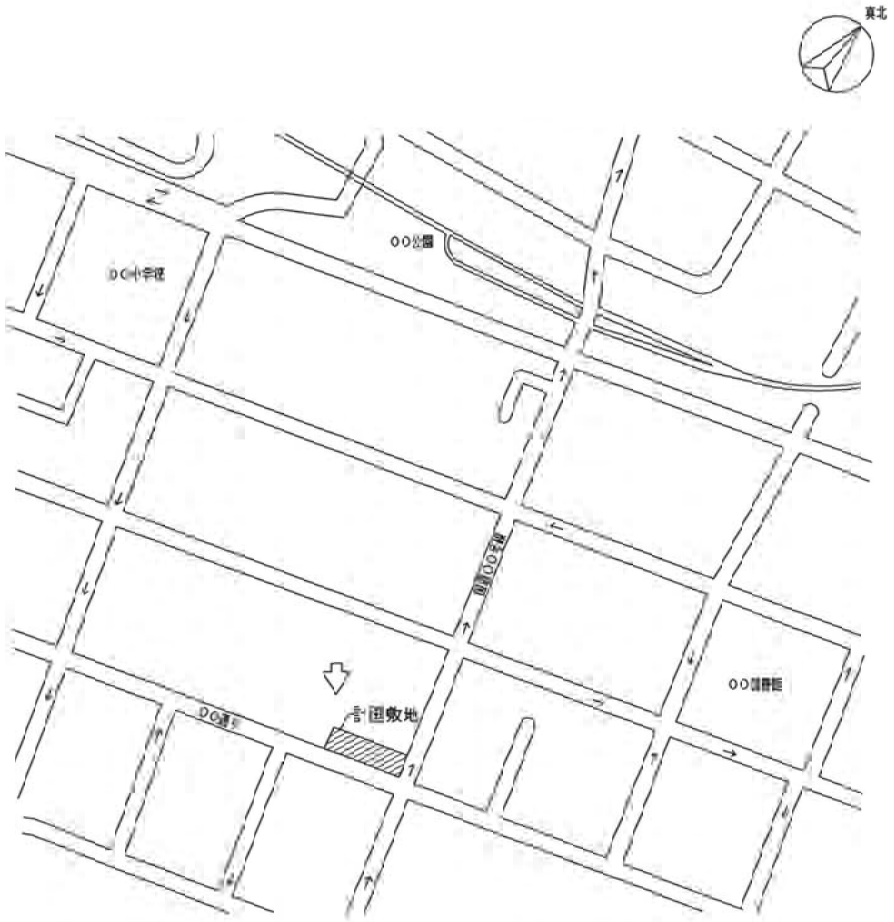
一般事項

敷地概要	工事名称	○○○○共同住宅新築工事
	建物場所	○○○○○○○
	地域指定	第2種中高層住居専用地域（200/60）（都市計画区域内）
	防火指定	なし
	その他の指定	22条地域
	日影規制	4h ～ 2.5h（4m）
	敷地面積	1,194.55 ㎡
	許容容積率	200 %
	許容建ぺい率	70 %（声明部地区内含む）
	道路幅員	12m ・ 9m
	適用される関連法令	建築法・高圧ガス保安法・ガス事業法・水道法・下水道法・浄化槽法
建物概要	建物用途	共同住宅
	工事方種別	新築
	工期	○○○○～○○○○
	建築面積	535.32 ㎡
	建築物全体面積	1,857.87 ㎡
	各階床面積（単位㎡）	建物番号：（共同住宅）

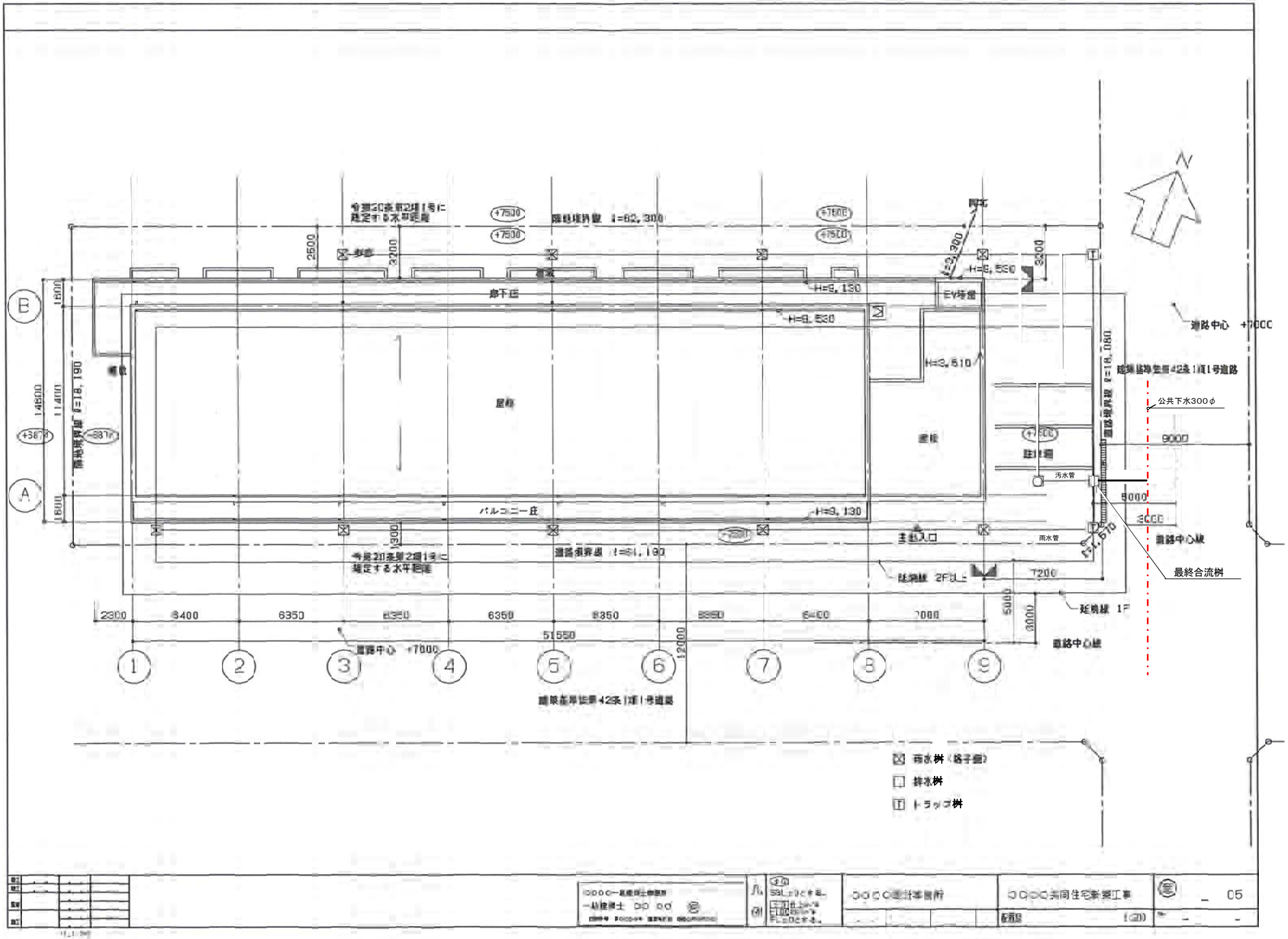
階	容積対象面積 自家	容積対象面積 共用	容積対象面積 計	容積算入外面積 共用の廊下等	容積算入外面積 自動車車庫等	容積算入外面積 地階の住戸等	容積算入外面積 計	合計
3階	484.89	28.38	513.27	14.99			14.99	528.26
2階	484.89	28.38	513.27	14.99			14.99	528.26
1階	484.89	50.78	535.67	65.68	0.01	0.00	65.68	601.35
合計	1,454.67	106.14	1561.21	95.66	0.01	0.00	95.66	1,657.87

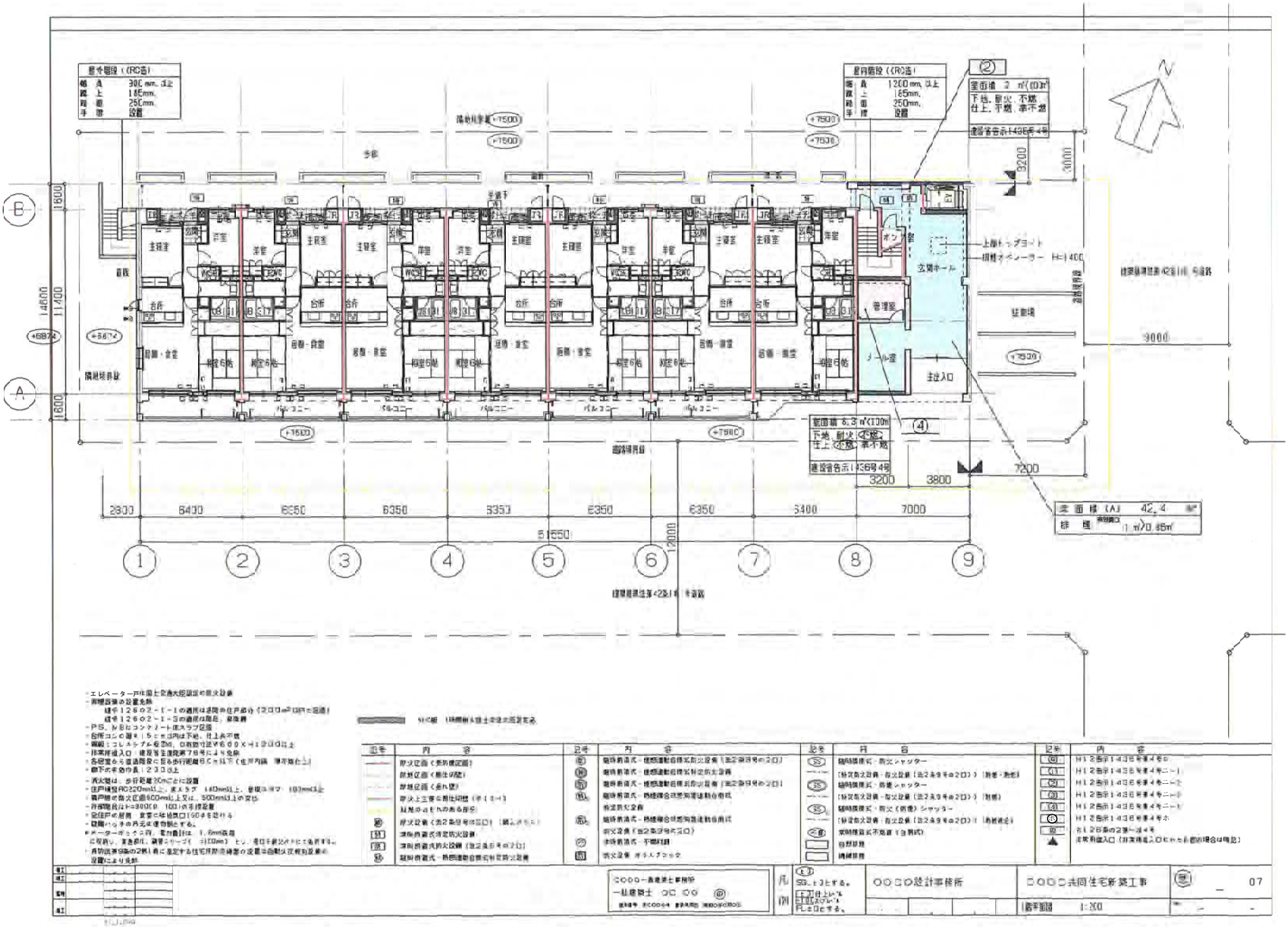
容積対象床面積		
容積率	130.85 % （＜200.00%）	
建ぺい率	69.95 % （＜ 70.00%）	
計画戸数	共同住宅21戸	
計画駐車台数	3 台	
計画駐輪台数	20 台	
高さ	階数	地上3階
	基準地盤面（SGL）	SGL=T.P+○○○
	平均地盤面	SGL=平均地盤面
	1階床高	IFL=SGL+250
	軒高	SGL+9,190
	最高部高	SGL+9,530
構造	構造種別	鉄筋コンクリート造
	耐火種別	耐火構造
	地盤	
	基礎	杭基FC杭基礎
	屋根	ラーメン構造
設備概要	市生設備	
	給水	飲用・雑用 給水本管
	給湯	飲用・雑用 戸別方式（ガス給湯暖房機）TES（24号）
	排水・通気	屋内・屋外 汚水、雑排水合流方式（単管式）浄化槽処理方式
	消火	消火器
	ガス	厨房用・給湯暖房用（大阪ガス13A低圧ガス）
	その他	下水処理区域内（分流区域）
	空調設備	
	空調	各住戸 共用部
	換気	
	排煙	自然排煙・窓開
	自動制御	

02 付近見取図



○○○○一級建築士事務所 一級建築士 ○○ ○○	凡例	注記 SGL±0とする。 IFL=SGL+250 FL±0とする。	○○○○設計事務所	○○○○共同住宅新築工事	01
			概要・付近見取図	


N
道路中心 +7000
公共下水300φ
9000
5000
3000
道路中心線
最終合流桝
汚水管
雨水管
EV待機
駐車場
主出入口
バルコニー庇
庇下庇
屋根
道路中心 +7000
道路中心線
51550
12000
雨水桝（格子蓋）
排水桝
トラップ桝



- エレベーター戸住居上空高大臣認定の防火設備
- 排煙設備の設置免除
  建令126の2－1－1の適用は住居の住戸部分（2000㎡以内）
  建令126の2－1－3の適用は階段、廊下等
- PS、ダクトコンクリート造スラブ区画
- 台所コンロ離隔：5cm以内は下地、仕上共不燃
- 開戸：コレクシブル板2m、口有効寸法W600×H1800以上
- 非常用進入口：建設省生産局第78号により免除
- 各居室から直通階段に至る歩行距離35m以下（住戸内廊　準不燃仕上）
- 廊下の幅員：2300以上
- 消火器は、歩行距離20mごとに設置
- 住戸構造RC220mm以上、床スラブ　140mm以上、壁厚200mm　100mm以上
- 隣戸間の防火区画600mm以上又は、500mm以上の突出
- 非常階段は下=3000、100ハの手摺設置
- 各住戸の居間、食堂に採光面積1/50を設ける
- 駐輪バッチの外元は建物とする。
- メーターボックス内、電力量計は、1.8m以内に収納し、蓋を部材、蓋等シリーズ（　H100mm）とし、電力量計設置パネルにて処理する。
- 消防法第9条の2第1項に指定する住宅用防災機器の設置＝自動火災報知設備の設置により免除

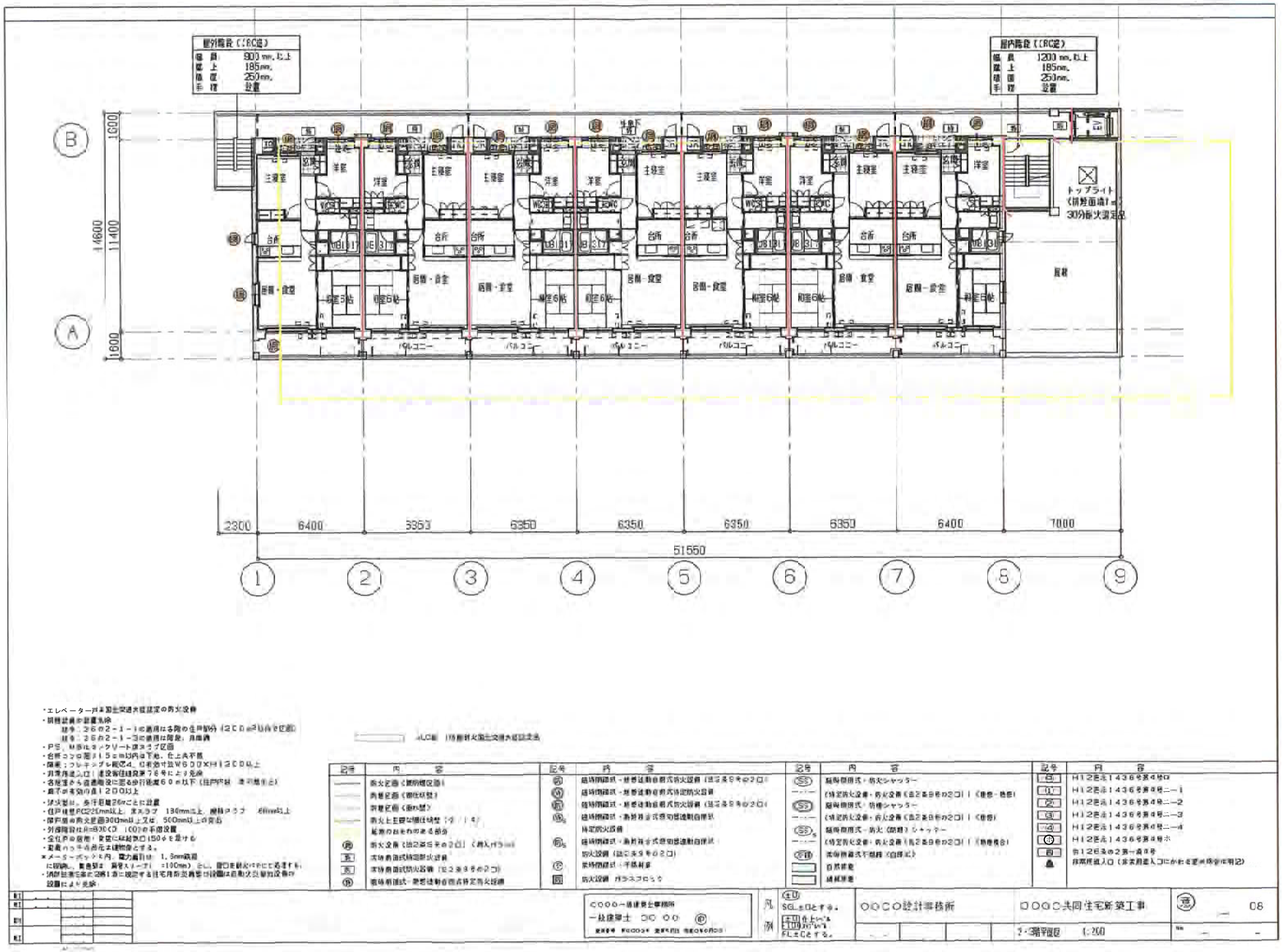
記号	内容
	防火区画（長期使用区画）
	防火区画（居住区間）
	防火区画（通れ壁）
	防火上主要な間仕切壁（平1ロ1）
	延焼のおそれのある部分
防	防火設備（法2条9号の2ロ）（鋼製ドア）
特	特殊防火設備（指定法9号の2ロ）
特	特殊防火設備（法2条9号の2ロ）
特	特殊防火設備（法2条9号の2ロ）

記号	内容
特	特殊防火設備・煙感知連動自動閉鎖防火設備（法2条9号の2ロ）
特	特殊防火設備・煙感知連動自動閉鎖防火設備（法2条9号の2ロ）
特	特殊防火設備・煙感知連動自動閉鎖防火設備（法2条9号の2ロ）
特	特殊防火設備・熱感知連動自動閉鎖防火設備
	特定防火設備
特	特殊防火設備・熱感知連動自動閉鎖防火設備
	防火設備（法2条9号の2ロ）
不	特殊防火設備・不燃材料
防	防火設備 ガラスブロック

記号	内容
SS	特殊防火設備・防火シャッター
	特定防火設備・防火設備（法2条9号の2ロ）（鉄骨・鉄板）
SS	特殊防火設備・防火シャッター
	特定防火設備・防火設備（法2条9号の2ロ）（鉄骨）
SS	特殊防火設備・防火（防煙）シャッター
	特定防火設備・防火設備（法2条9号の2ロ）（鉄骨鉄板）
不	不燃材料（法2条9号の1）（不燃材料）
	自然排煙
	機械排煙

記号	内容
01	H12告示1436号第4号ロ
02	H12告示1436号第4号ニ(1)
03	H12告示1436号第4号ニ(2)
04	H12告示1436号第4号ニ(3)
05	H12告示1436号第4号ニ(4)
06	H12告示1436号第4号ホ
07	令126条の2第1項4号 非常用進入口（非常用進入口にかかる部分の理由は明記）

凡例	SGL±0とする。
	土間仕上げ
	土間床スレブ
	FL±0とする。
○○○○設計事務所	○○○○共同住宅新築工事
縮尺	1:300
	07

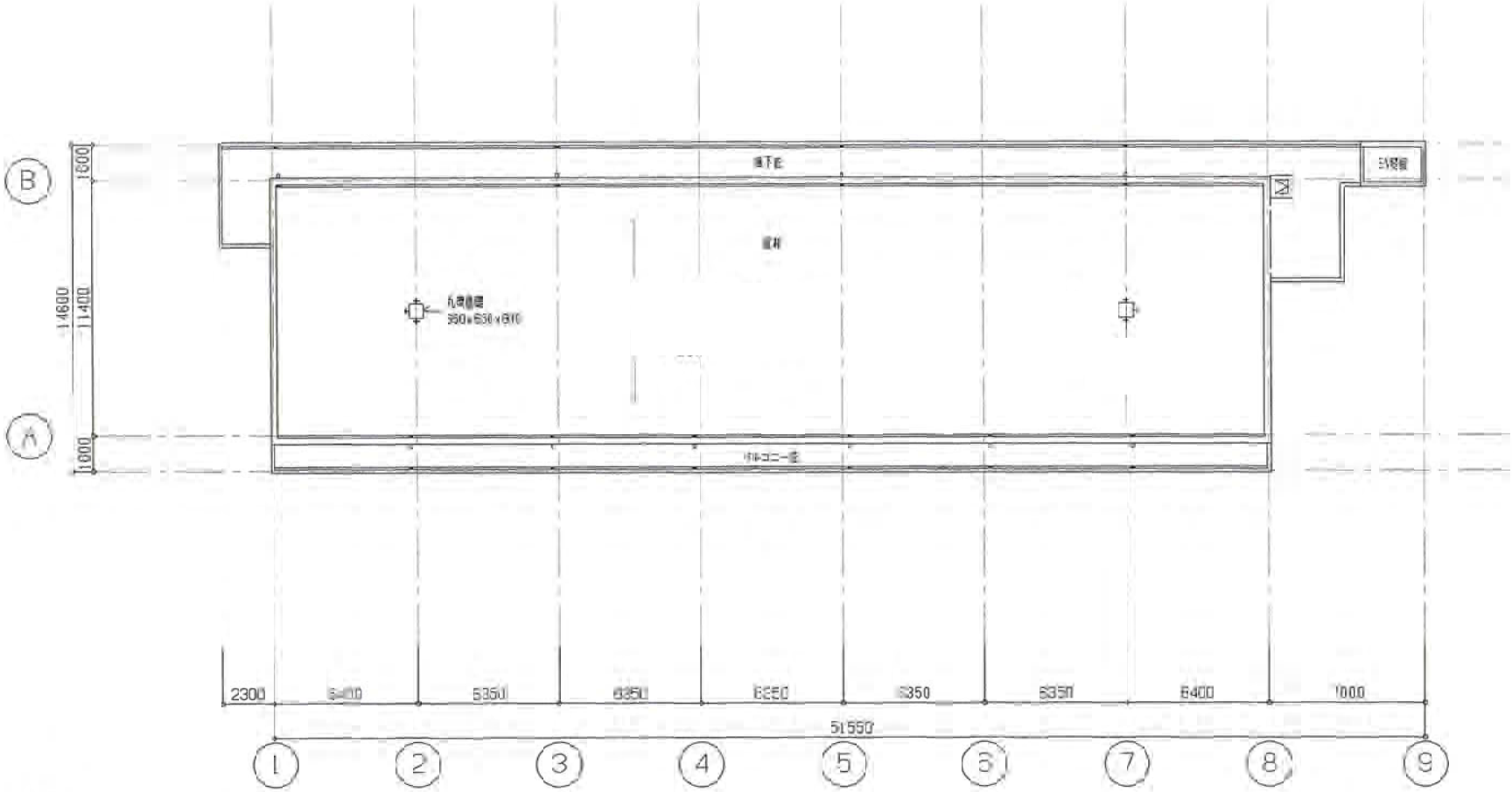


・エレベーター戸＊国土交通大臣認定の防火設備
・排煙設備の設置免除
　建令：26の2－1－1に適用は各階の住戸部分（2CD m2以内を区画）
　建令：26の2－1－3に適用は階段，廊下
・PS，MBはコンクリート床スラブ区画
・台所コンロ周り15cm以内は下地，仕上共不燃
・隔壁：フレキシブル間仕切，切断寸法W600×H1200以上
・非常用進入口：建設省住建発第76号により免除
・各居室から直通階段に至る歩行距離60m以下（住戸内部　準用無窓）
・廊下が有効巾員1200以上
・排水管は，歩行距離26mごとに設置
・住戸境界RC造150mm以上，床スラブ　130mm以上，間仕切ラブ　60mm以上
・隣戸間の開口部300mm以上又は，500mm以上の突出
・外廊階段は h=830CD　100の手摺設置
・全住戸の居間・食堂に延焼防止150φを設ける
・配管ハッチ点検口は建物内とする。
＊メーターボックス内，電力盤引込：1.5mm鉄扉
　に限定し，電線管：鋼管入ハーフ（＝100mm）とし，開口を防火ドアにとどまるとも，
・消防法第5条の2第1項に規定する住宅用防災警報器は自動火災報知設備の
　設置により免除

HLC造　（特殊耐火構造大臣認定）

記号	内容	記号	内容	記号	内容	記号	内容
	防火区画（建防規区画）		機械排煙式・排煙連動自動式防火設備（法2条9号の2ロ）		機械排煙式・防火シャッター		H12告示1436号第4号ロ
	防煙区画（排煙区画）		機械排煙式・排煙連動自動式特定防火設備		（特定防火設備・防火設備（法2条9号の2ロ））（建令・建基）		H12告示1436号第4号ニ－1
	排煙区画（排令区画）		機械排煙式・排煙連動自動式防火設備（法2条9号の2ロ）		機械排煙式・防煙シャッター		H12告示1436号第4号ニ－2
	防火上主要な間仕切壁（令112条）		機械排煙式・連動非常式感知器連動自動式		（特定防火設備・防火設備（法2条9号の2ロ））（建令）		H12告示1436号第4号ニ－3
	延焼のおそれのある部分		特定防火設備		機械排煙式・防火（防煙）シャッター		H12告示1436号第4号ニ－4
	防火設備（法2条9号の2ロ）（開口部）		機械排煙式・連動非常式感知器連動自動式		（特定防火設備・防火設備（法2条9号の2ロ））（防煙機能）		H12告示1436号第4号ホ
	防火設備（法2条9号の2ロ）		特定防火設備（法2条9号の2ロ）		機械排煙式不燃材（自然式）		告H12条の2第一項8号
	特殊防火設備（法2条9号の2ロ）		排煙開口		自然排煙		非常用進入口（非常用進入口にかかる窓の保安に明記）
	特殊防火設備（法2条9号の2ロ）		平屋建家		機械排煙		

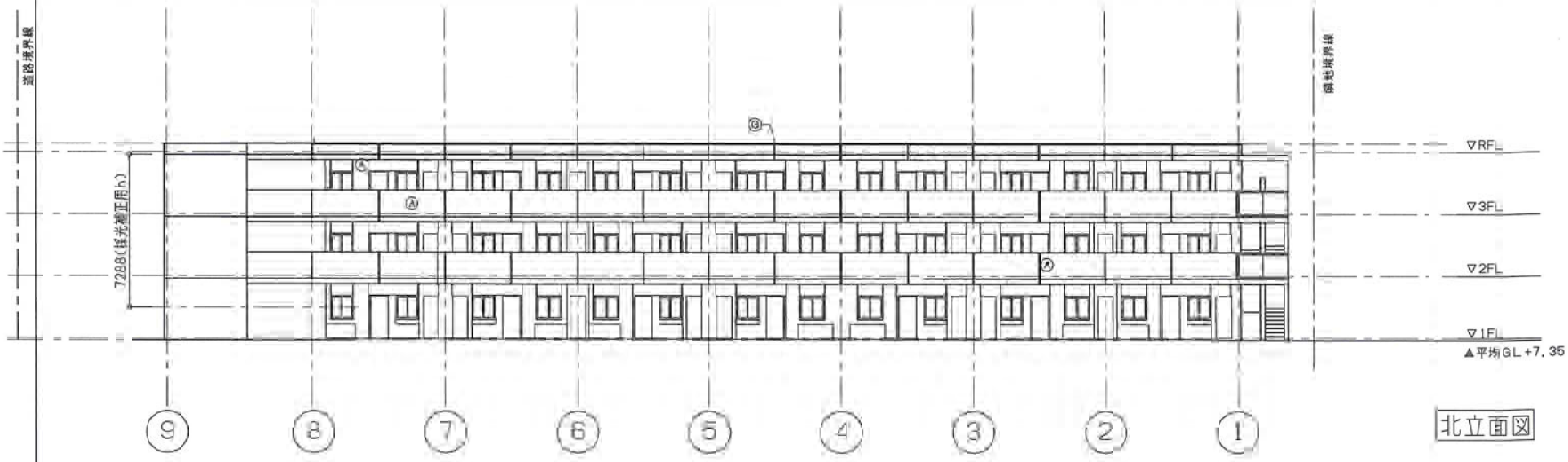
凡例	○○○○一級建築士事務所 一級建築士　○○　○○	SL±0とする。 +10 仕上レベル ±10 ボウ上レベル FL±0とする。	○○○○設計事務所	○○○○共同住宅新築工事			08
				2・3階平面図	1:200		

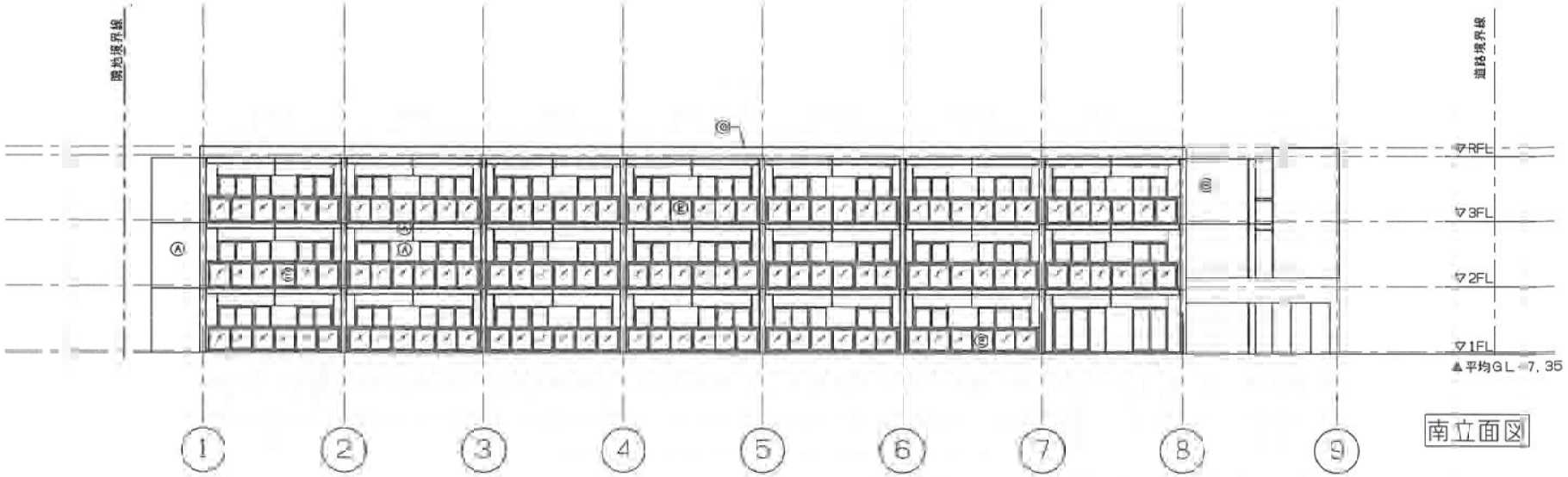


・[illegible]
　建令126の2・1～3の適用は各階の住戸部分（200㎡以内で[illegible]）
　建令126の2・1～3の適用は階段、共用廊
・PS、MBはコンクリート造スラブ区間
・台所コンロ周り：5：00以内は下地、化粧板張
・隔壁：ウレタンブル厚25、0有効寸法W巾0.7×H1200以上
・非常用進入口：建設省告示第7号により免除
・各居室から直通階段に至る歩行距離40m以下（主要内装　準不燃仕上）
・廊下幅有効巾員：2730以上
・消火器は、歩行距離20mごとに設置
・住戸隔壁RC200mm以上、床スラブ　140mm以上、屋根スラブ　100mm以上
・隣戸間の離隔距離900mm以上又は、500mm以上の袖壁
・外壁開口は下=800以　100以下は設置
・全住戸の居室　窓面に採光口1/50を設ける
・敷地ハッチは円元は建物側とする。
※メーターボックス内：電力量計は　1.5m位置に設置し、配管部は、調整スリーブ（　=140mm）とし、管口を配管パイプに緊密サ[illegible]

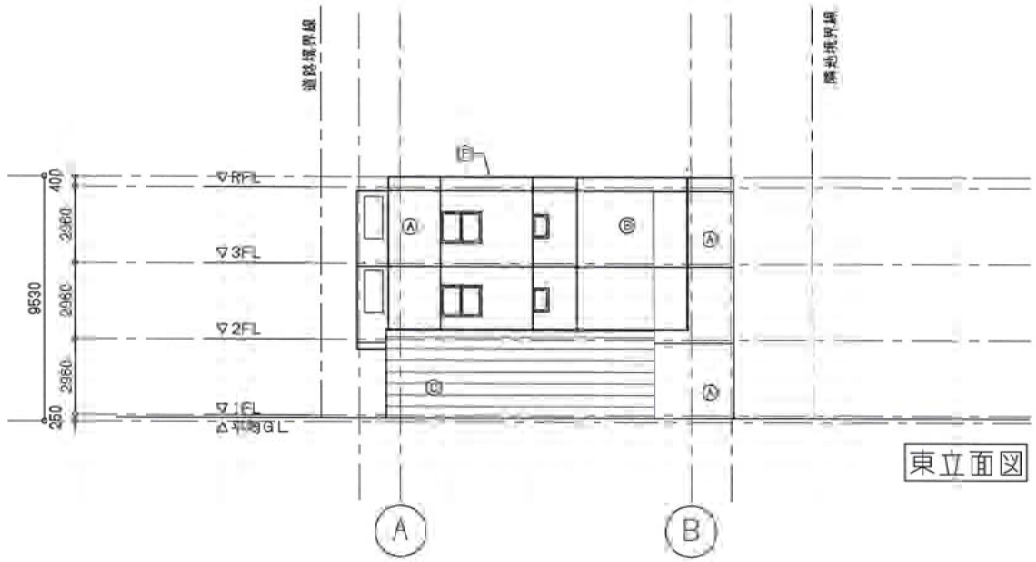
記号	内容	記号	内容	記号	内容	記号	内容
	防火区画（建築基準法）		排煙形式・機械駆動自動式防火設備（法2第9号の2ロ）		排煙形式・防煙シャッター		H12告示1436号第4号ウ
	防火区画（開放可能）		排煙形式・機械駆動自動式防火設備		（特定防火設備・防火設備（法2条9号の2ロ））（検査・表示）		H12告示1436号第4号ニ-1
	防火区画（閉鎖）		排煙形式・機械駆動自動式防火設備（法2第9号の2ロ）		排煙機形式・防煙シャッター		H12告示1436号第4号ニ-2
	防火上主要な間仕切壁（令114）		排煙形式・機械駆動手動開放装置自動式		（特定防火設備・防火設備（法2条9号の2ロ））（検査）		H12告示1436号第4号ニ-3
	延焼のおそれのある部分		特定防火設備		排煙機形式・防火（防煙）シャッター		H12告示1436号第4号ニ-4
	防火設備（法2条9号の2ロ）（遮炎性）		排煙形式・機械駆動手動開放装置自動式		（特定防火設備・防火設備（法2条9号の2ロ））（検査金）		H12告示1436号第4号ホ
	特殊構造式防火区画		特定防火設備（法2条9号の2ロ）		排煙形式不燃系（自動式）		令129条の2第一項4号
	特殊構造式防火間隔（法2条9号の2ロ）		排煙形式・不燃材料		自然排煙		非常用進入口（非常用進入口にかわる窓の場合に明記）
	排煙構造式・機械駆動自動式防火設備		防火設備　ガラスブロック		通風排煙		

凡例	○○○○一級建築士事務所 一級建築士　○○　○○	SG上ロとする。 仕上げ上レベル ±100.0以下レベル FL±0とする。	○○○○設計事務所	○○○○共同住宅新築工事	09
				縮尺 1:200	

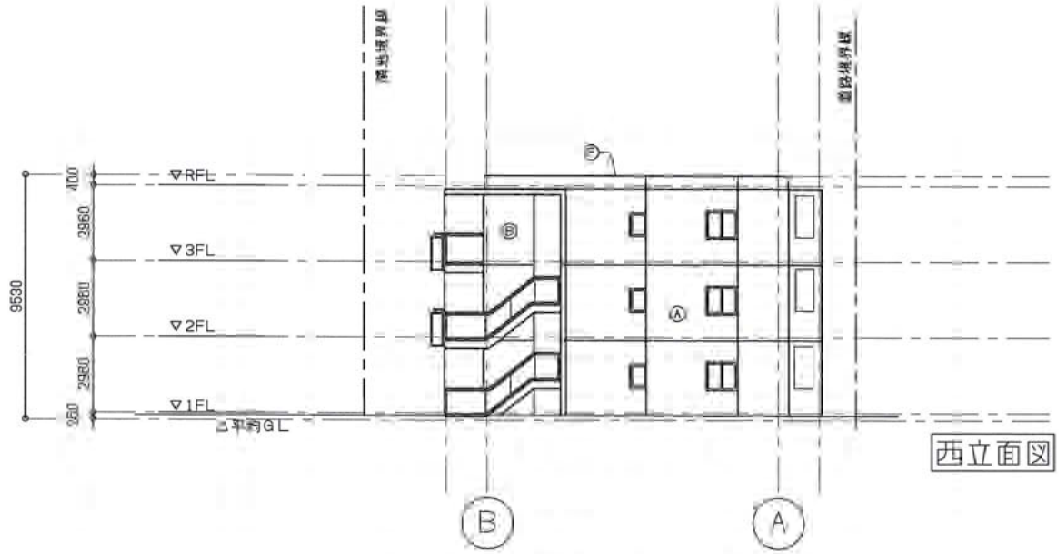




凡例	○○○○設計事務所	○○○○共同住宅新築工事	10
		南・北立面図 1:200	No. –



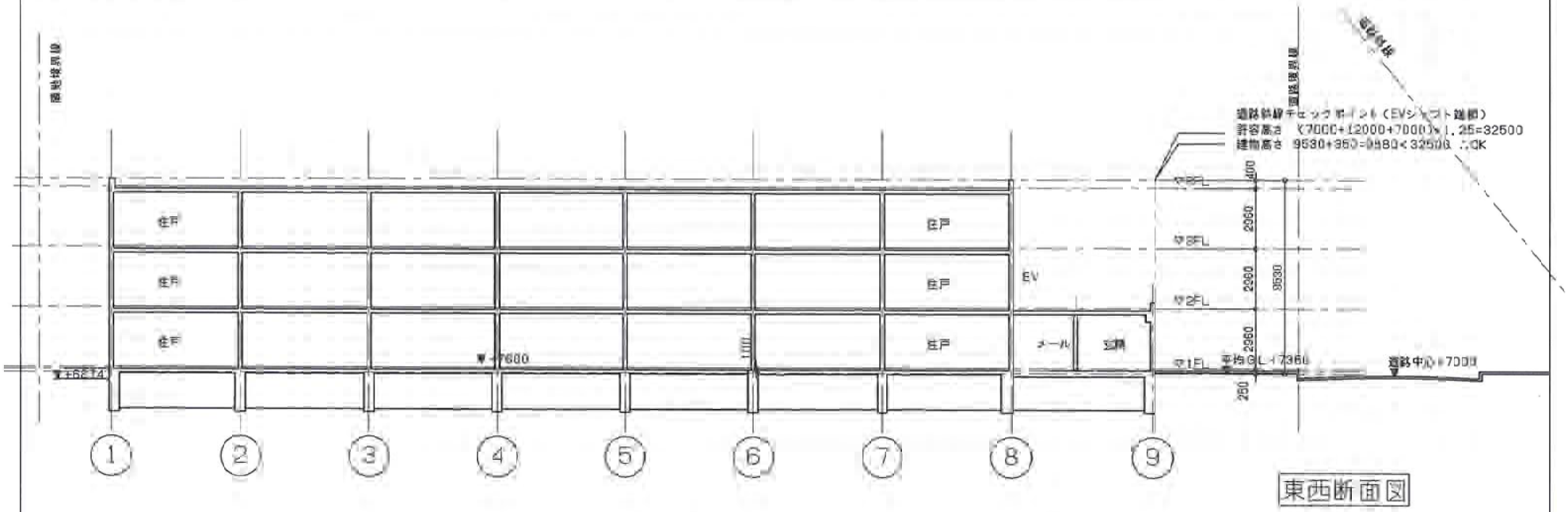
東立面図

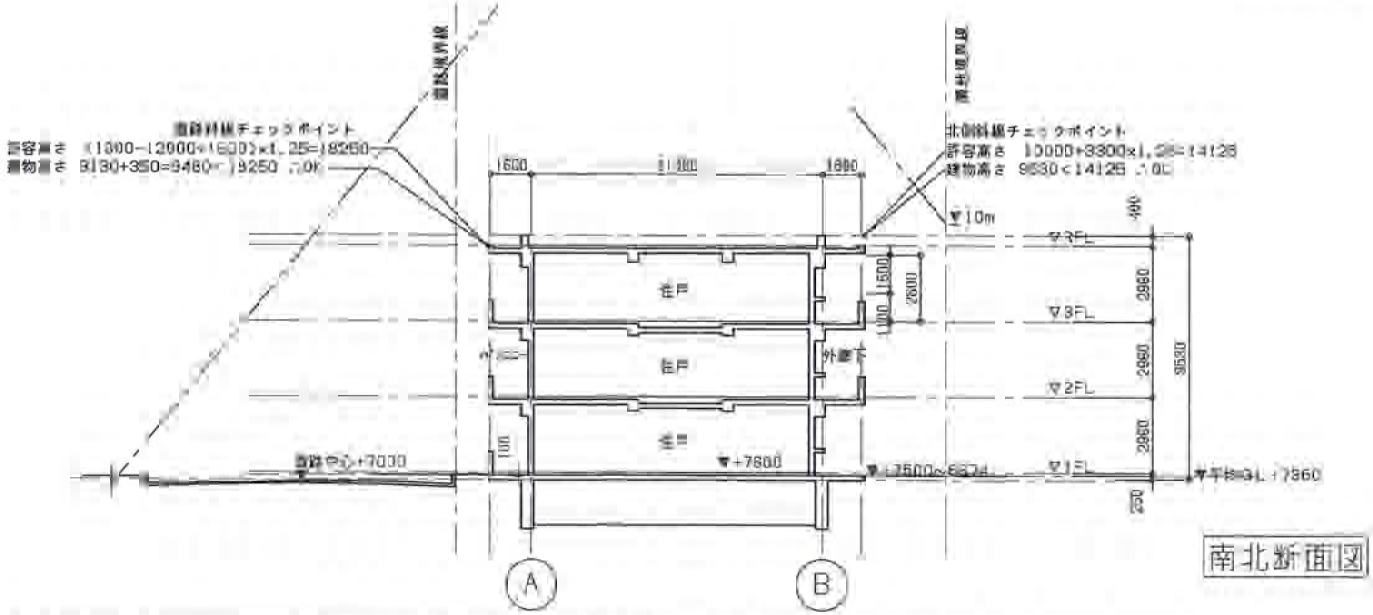


西立面図

○○○○一級建築士事務所 一級建築士 ○○ ○○	凡例	Ⓐ 15×45磁器質タイル Ⓑ 25×95磁器質タイル Ⓒ モーダータイル Ⓓ 二丁掛磁器質タイル Ⓔ アルミ製手摺 F-96（バルコニー） Ⓕ アルミ製手摺 F-96（外廊下） Ⓖ アルミ笠木	○○○○設計事務所	○○○○共同住宅新築工事
			東・西立面図 1:200

11





○○○○一級建築士事務所 一級建築士 ○○ ○○	凡例	○○○○設計事務所	○○○○共同住宅新築工事
		縮尺 1:200	12

内装仕上表

位置	室名		床		巾木	(Hmm)		壁	(仕上/接着)	見切縁		天井	(仕上/接着)	天井高	備考
共通	PS・MB	CK	防水対入モルタル t=30	FL+100	防水対入モルタル	00		コンクリート打放補修				コンクリート打放補修		直天井	階段スチールSOP
					t=30										
	階段	CK	長尺塩ビシート		コンクリート金ゴテ	100		コンクリート打放補修	RE-T		C	リシン吹付		直天井	アルミ手摺(ビニルハンドレール)
			段鼻:ステンレス アンスリップ		P防水			中壁:磁器質タイル 95×95							階数表示板(各階2ヶ所)
1F	玄関ホール	W	花崗岩J&P 600×600×30		—		W	磁器質タイル 45×45		カラーアルミ		アルミパネル t=2.5	F-3E	2400	オートロック操作盤(設備工事)
								磁器質タイル ボーダー							入居者案内板
															郵便板:ステンレス 700×300
	メール室	W	花崗岩J&P 600×600×30		—		W	磁器質タイル 45×45		カラーアルミ		アルミパネル t=2.5	EP-I	2400	メールボックス、名札ボックス
								磁器質タイル ボーダー							掲示板
	管理室	WF	ビニルタイル		ソフト巾木	60	PB	ビニルクロス(不燃)			PB	ビニルクロス(不燃)		2300	
住戸	ポーチ	W	200角タイル	-30			C	45×45 磁器質タイル張り			Cs	リシン吹付け		2135	一体型(宅配BOX・新聞受・インターホン)-SUS製
											C	45×45 磁器質タイル張り			花台(FRPグレーチング)
	トランクルーム	S	防水対入りモルタル	±0			M	コンクリート打放し				コンクリート打放し		2000	
	玄関	W	大理石(400×400)	-30	大理石	120	PB	ビニルクロス(準不燃)			PB	ビニルクロス(準不燃)		2250	下足入(トール型):巾スリ:ステンレス
															上框:大理石(見付幅120mm)
	廊下	WF	フローリング t=12	±0	木製オレフィンシート貼	60	PB	ビニルクロス(準不燃)			PB	ビニルクロス(準不燃)		2200	
			(L-45 1Fのみ L-60)												
	居間・食堂	WF	フローリング t=12	±0	木製オレフィンシート貼	60	PB	ビニルクロス(準不燃)				ビニルクロス(準不燃)		2500	MC用スリーブ、給気口150φ(防音フィルター付き)
			(L-45 1Fのみ L-60)											1部2300	間仕切、カーテンレール(N)、カーテンボックス
															LDカウンター:ウレタン塗装D=300
	物入	WF	フローリング t=12	±0			PB	シナ合板 t=4			PB	シナ合板 t=4		2200	棚板:4枚
			(L-45 1Fのみ L-60)					扉:木製(オレフィンシート貼)							床下点検口450×450
	洋室	WF	フローリング t=12	±0	木製オレフィンシート貼	60	PB	ビニルクロス(準不燃)			PB	ビニルクロス(準不燃)		2500	MC用スリーブ75φ 給気口100φ(防音フィルター付き)
			(L-45 1Fのみ L-60)											1部2200	カーテンレール(W)、カーテンボックス
	クローゼット	WF	フローリング t=12	±0			PB	シナ合板 t=4				シナ合板 t=4		2200	ハンガーパイプ:SUS
			(L-45 1Fのみ L-60)					扉:木製(オレフィンシート貼)							丸棚
	和室	WF	スタイロ畳 t=55	±0	畳寄せ		PB	ビニルクロス(準不燃)			PB	ビニルクロス(準不燃)		2500	MC用スリーブ75φ 給気口100φ(防音フィルター付き)
															天袋、付長押
	押入	WF	シナ合板 t=5	±0			PB	シナ合板 t=4				シナ合板 t=4		2500	中段、天袋
	台所	WF	フローリング t=12	±0	木製オレフィンシート貼	60	PB	ビニルクロス(準不燃)			PB	ビニルクロス(準不燃)		2200	システムキッチン
			(L-45 1Fのみ L-60)					流し前:不燃化粧板							
	トイレ	WF	長尺塩ビシート t=1.8	±0	ソフト巾木	60	PB	ビニルクロス(準不燃)			PB	ビニルクロス(準不燃)		2200	タオルリング・ペーパーホルダー・見切り縁
	洗面室	WF	長尺塩ビシート t=1.8	±0	ソフト巾木		PB	ビニルクロス(準不燃)			PB	ビニルクロス(準不燃)		2200	洗濯パン(640×640)・タオル掛け W=600
															洗面化粧台
	リネン庫	WF	ポリ合板	+71.5			PB	ポリ合板				ポリ合板			棚板:ポリ合板4枚
								扉:ポリ合板							
	浴槽(UB)	CK	FRP(石机様磨石調)	±0				FRP(別風)				FRP		2000	1317

初			
初			
例			
初			

○○○○一級建築士事務所
一級建築士 ○○ ○○

尺 1:50
例

① SGL±0とする。
FL=0とする。

○○○○設計事務所

○○○○邸住宅新築工事

室内仕上表

15

Aタイプ

室名	部屋面積 Am²	必要採光面積L=A/7m² 必要換気面積V=A/20m²	有効採光面積 L1 m²　補正係数	有効換気面積 V1m²	L<L1 V<V1	判定
居間・食堂	17.67	L=2.53 V=0.89	2.40×2.01=4.82 L1=4.82	0.80×2.01=1.60 V1=1.60	2.53<4.82 0.89<1.60	OK OK
主寝室	9.75	L=1.40 V=0.49	1.5×1.11×1.23×0.7=1.43 L1=1.43	0.75×1.11=0.83 V1=0.83	1.40<1.43 0.49<0.83	OK OK
洋室(1)	7.63	L=1.09 V=0.39	1.1×1.11=1.22 L1=1.22	0.55×1.11=0.61 V1=0.61	1.09<1.22 0.39<0.61	OK OK
和室	9.72	L=1.39 V=0.49	1.6×2.01=3.21 L1=3.21	0.80×2.01=1.60 V1=1.60	1.39<3.21 0.49<1.60	OK OK

採光補正係数算定式
住居系地域　6d/h−1.4

←

6×3.2/7.288−1.4=1.23
縁側のある場合　0.7

Bタイプ

室名	部屋面積 Am²	必要採光面積L=A/7m² 必要換気面積V=A/20m²	有効採光面積 L1 m²　補正係数	有効換気面積 V1m²	L<L1 V<V1	判定
居間・食堂	17.89	L=2.56 V=0.90	2.40×2.01=4.82 L1=4.82	0.80×2.01=1.60 V1=1.60	2.56<4.82 0.90<1.60	OK OK
主寝室	9.92	L=1.42 V=0.50	1.5×1.11×1.23×0.7=1.43 L1=1.43	0.75×1.11=0.83 V1=0.83	1.42<1.43 0.50<0.83	OK OK
洋室(1)	7.63	L=1.09 V=0.39	1.1×1.11=1.22 L1=1.22	0.55×1.11=0.61 V1=0.61	1.09<1.22 0.39<0.61	OK OK
和室	9.72	L=1.39 V=0.49	1.6×2.01=3.21 L1=3.21	0.80×2.01=1.60 V1=1.60	1.39<3.21 0.49<1.60	OK OK

採光補正係数算定式
住居系地域　6d/h−1.4

←

6×3.2/7.288−1.4=1.23
縁側のある場合　0.7

Cタイプ

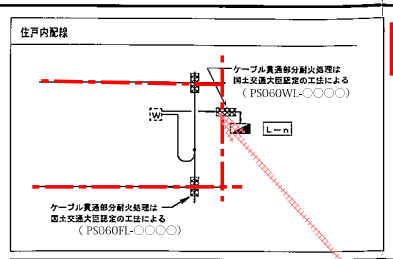
室名	部屋面積 Am²	必要採光面積L=A/7m² 必要換気面積V=A/20m²	有効採光面積 L1 m²　補正係数	有効換気面積 V1m²	L<L1 V<V1	判定
居間・食堂	17.67	L=2.53 V=0.89	2.40×2.01=4.82 L1=4.82	0.80×2.01=1.60 V1=1.60	2.53<4.82 0.89<1.60	OK OK
主寝室	9.75	L=1.40 V=0.49	1.5×1.11×1.23×0.7=1.43 L1=1.43	0.75×1.11=0.83 V1=0.83	1.40<1.43 0.49<0.83	OK OK
洋室(1)	7.78	L=1.12 V=0.39	1.1×1.11=1.22 L1=1.22	0.55×1.11=0.61 V1=0.61	1.12<1.22 0.39<0.61	OK OK
和室	9.9	L=1.42 V=0.50	1.6×2.01=3.21 L1=3.21	0.80×2.01=1.60 V1=1.60	1.42<3.21 0.50<1.60	OK OK

採光補正係数算定式
住居系地域　6d/h−1.4

←

6×3.2/7.288−1.4=1.23
縁側のある場合　0.7

幹線番号	負荷名称	敷設部分						
		屋外露出部分	地中隠蔽部分	コンクリート隠蔽部分	屋内隠蔽部分	屋内露出部分	ＥＰＳ／ＭＢ内	備考
L1	単相引き込み	CVT60° (GP54)	CVT60° (FEP65)	――	――	――	――	
L11	住戸　戸	――	CVT22° E8° E8° (FEP50)	――	――	――	CVT22° E8° E8°	
L12	住戸　戸	――	CVT22° E8° E8° (FEP50)	――	――	――	CVT22° E8° E8°	



詳細図

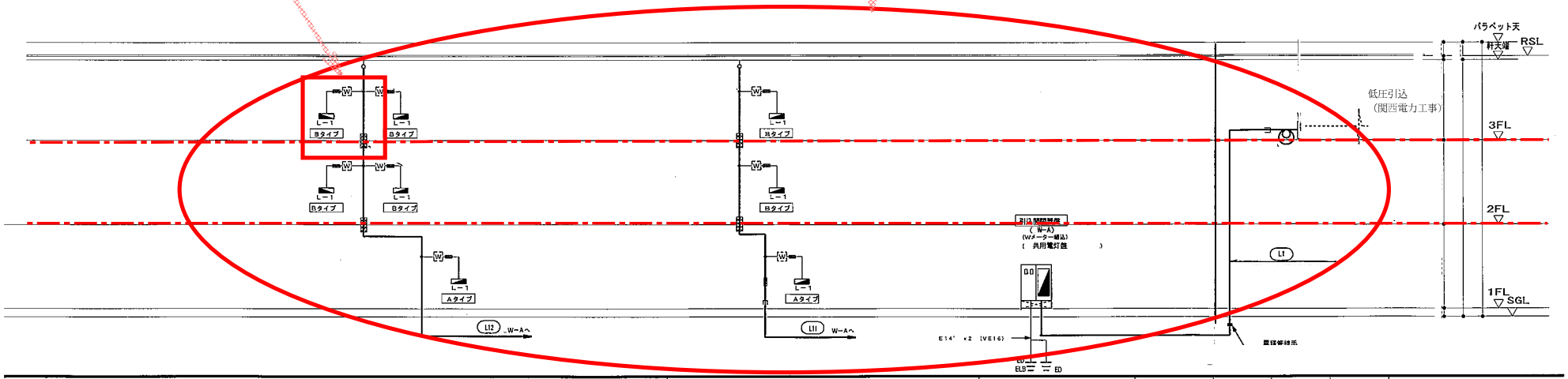
1．マンション等に使用するＣＶＴ幹線ケーブルの分岐加工は、工場製作品とする事。又、認定特記なき分岐ケーブルサイズは、８ｓｑとする。
2．床・壁等の防火／耐火区画を貫通する部分には、国土交通大臣認定工法を採用する事。
PS060FL-○○○○
PS060WL-○○○○

凡例　区画貫通か所
　　防火区画

すき間を埋める材料種別
明示事項：６２・２１０

常用の電源の種類及び構造
明示事項：１２７
下記、電気幹線系統図を示す

詳細図　参照



特記事項	工事名称	図面名称	縮尺	日付	作図	図面NO.	
	○○共同住宅　新築工事	幹線系統図	―				○○○○一級建築事務所 一級建築士　○○　○○　㊞ 登録番号 第○○○○号登録年月日 昭和○年○月○日

各分電盤　共通事項

【ブレーカー種別】

記号	種　別
A	MCCB 1P 30AF/20AT NS付
B	MCCB 2P 50AF/20AT
C	ELCB 1P 30AF/20AT NS付 30mA
D	ELCB 2P 30AF/20AT 30mA
E	ELCB 2P 30AF/20AT 30mA・警報スイッチ付
F	RMCB 2P 30AF/20AT
G	RELB 2P 30AF/20AT 30mA
H	RMCB 2P 30AF/20AT NS付 30mA＋リレー

※印のブレーカーは白地に赤文字、ストッパー付とし、※※印はストッパー付とする。

電灯分電盤　1L-1　露出型　鋼板製　P-2XD

常用の電源及び予備電源の
種類及び位置・構造
明示事項：１２７

1φ2W100V　発電機回路

GL1

MCCB2P 2E
50AF/30AT

【各分電盤共通】

No.	電圧	ブレーカー種別	容量	負荷名
GL11	100	D	1,000	エレベーター照明 ELCB（100mA）
GL12	100	D	1,200	
GL13	100	D	1,800	非常コンセント
				１１階以上に設置

注記

非常コンセントのケーブルは
耐火ケーブルとする。

（非常コンセントを
設置する場合）

消防用設備等の技術上
の基準に関する事項
明示事項：７９

1φ 3W 200V/100V

L11

	負荷名称	容量	ブレーカー種別	電圧	No.
※	火災報知受信機		D	100	イ
	非常通報・警報盤		D	100	ハ
※	誘導灯信号装置		B	100	ホ
	TVブースター用コンセント		D	100	ト

No.	電圧	ブレーカー種別	容量	負荷名	
ロ	100	B		誘導灯	※
ニ	100	D		光・LAN機器用	※※
ヘ	100	D		ITV機器	※※
チ	100	B		電気錠・インターホン	※

MCCB 3P 125AF/125AT
中性線欠相保護付

	負荷名称	容量	ブレーカー種別	電圧	No.
	事業所通り　照明		G	100	101
	食堂　照明		F	100	103
	屋外　照明（D）		D	100	105
TM	屋外階段（T）		D	100	107
※	非常照明		B	100	109
	予備	—	B	100	111

No.	電圧	ブレーカー種別	容量	負荷名
102	100	G		ホール、廊下　照明
104	100	F		食堂　照明
106	100	D		屋外　照明（T）
108	100	B		屋外　サイン看板照明
110	100	B	—	予備
112	100	B	—	予備

注記

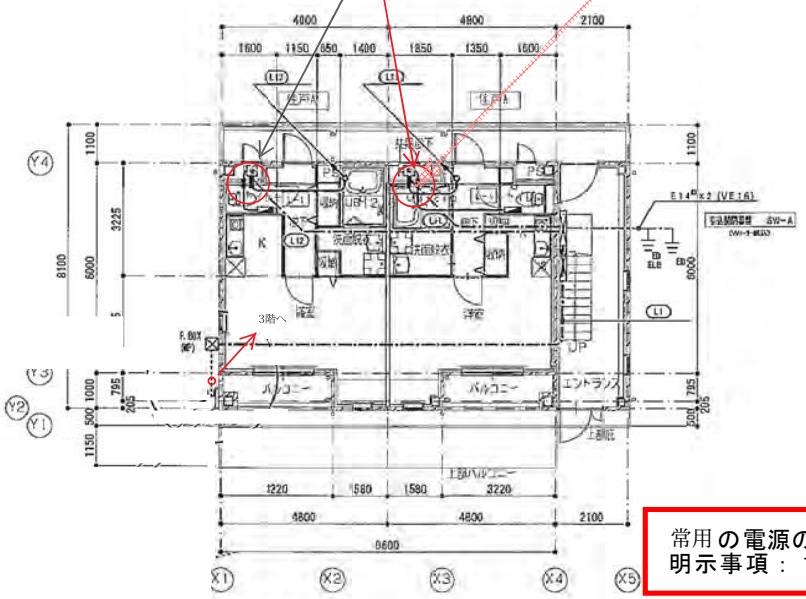
非常用照明回路が一般共用照明と同一回路の場合は、一般照明回路の後に非常用照明を明示し、充電回路として専用線or3線引きを明示してください

○○○○一級建築事務所
一級建築士　○○　○○　㊞
登録番号 第○○○○号登録年月日 昭和○年○月○日

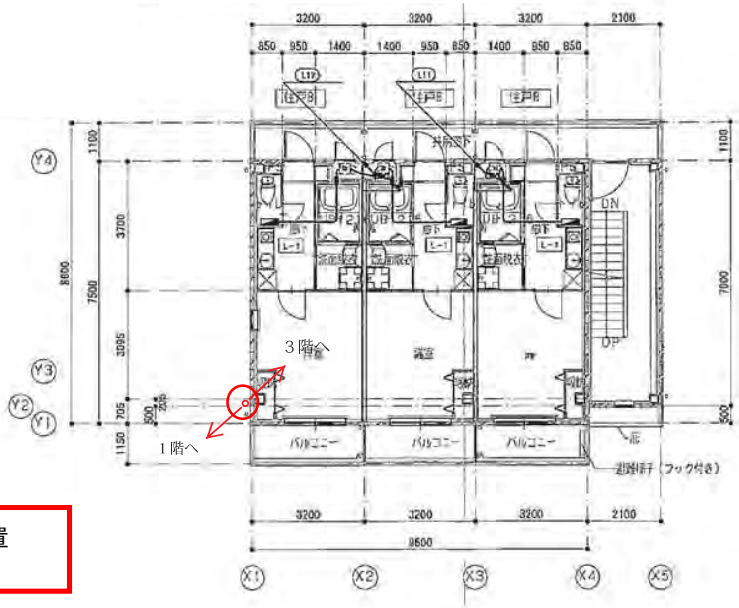
単線結線図

すき間を埋める材料の種別
明示番号：６０

区画貫通部



常用の電源の種類及び位置
明示事項：１２４



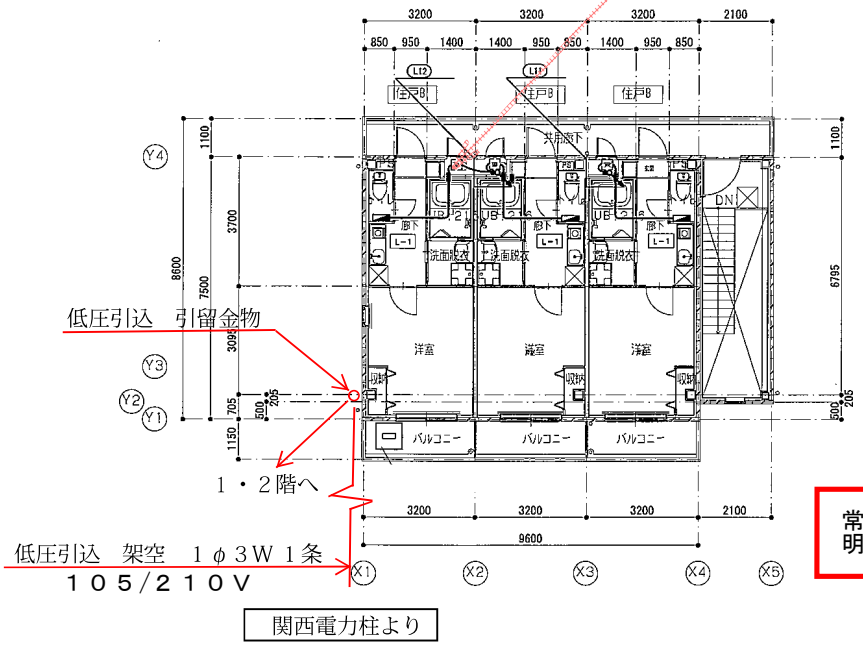
１階　平面図　S:1/100

注記
1．特記なき配管配線サイズは系統図参照とする。

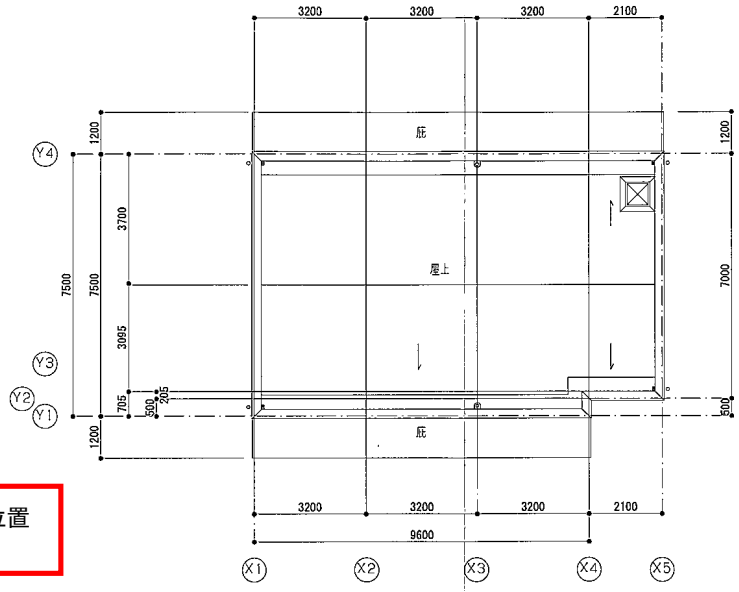
２階　平面図　S:1/100

特記事項	工事名称	図面名称	縮尺	日付	作図	図面NO.	
	○○共同住宅 新築工事	幹線・動力設備 1・2階平面図	T ： 100				○○○○一級建築事務所 一級建築士　○○　○○　㊞ 登録番号 第○○○○号登録年月日 昭和○年○月○日

すき間を埋める材料の種別
明示番号：６０



常用の電源の種類及び位置
明示事項：１２４



３階　平面図　S:1/100

屋根伏図　S:1/100

特記事項	工事名称	図面名称	縮尺	日付	作図	図面NO.	
	○○共同住宅　新築工事	幹線・動力設備 3階平面図・屋根伏図	1 ： 100				○○○○一級建築事務所 一級建築士　○○　○○　㊞ 登録番号 第○○○○号登録年月日 昭和○年○月○日

照明装置の構造
明示事項：１７０

非常用の照明装置の機器図の添付を求める。
(S45告示1830号（ソケットの材質、器具内の電線の種類等） 又は、JIL記号入りの機器詳細図)

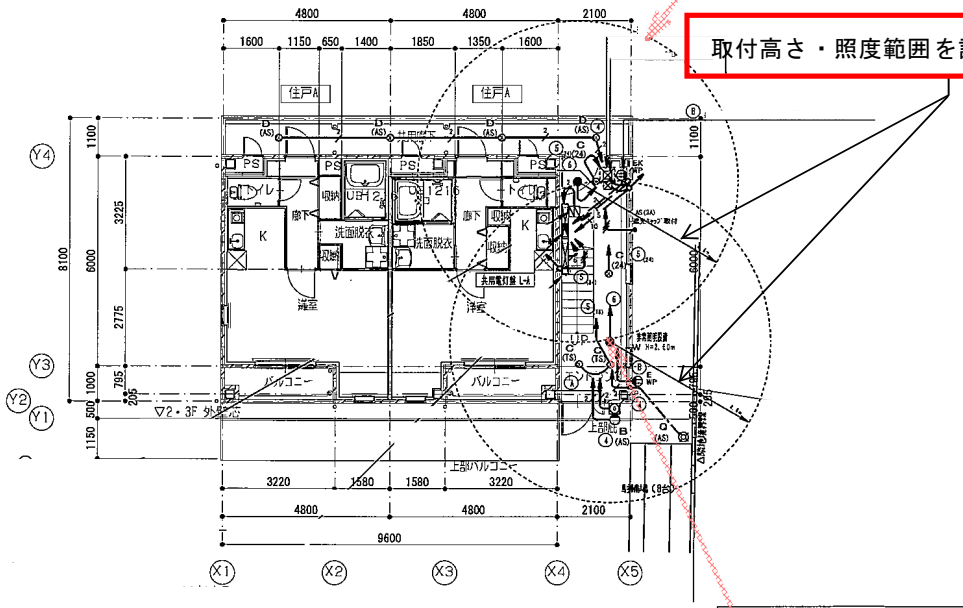
注記:LEDの非常用の照明装置
S45告示1830号の構造方式に該当しないため、
国交省大臣認定書を添付してください。

器具配置表　保守率 0.79

取付の高さ		2.1m	2.4m	2.6m	3.0m	3.5m	4.0m	4.5m	5.0m	6.0m
単体配置	A1	4.0	4.4	4.6	4.2	2.0	—	—	—	—
直線配置	A2	8.6	9.6	10.2	11.2	12.2	—	—	—	—
四角配置	A4	6.9	7.7	8.2	9.0	10.0	—	—	—	—

非常用の照明装置の
照度を確保できる範囲
明示事項：１７１

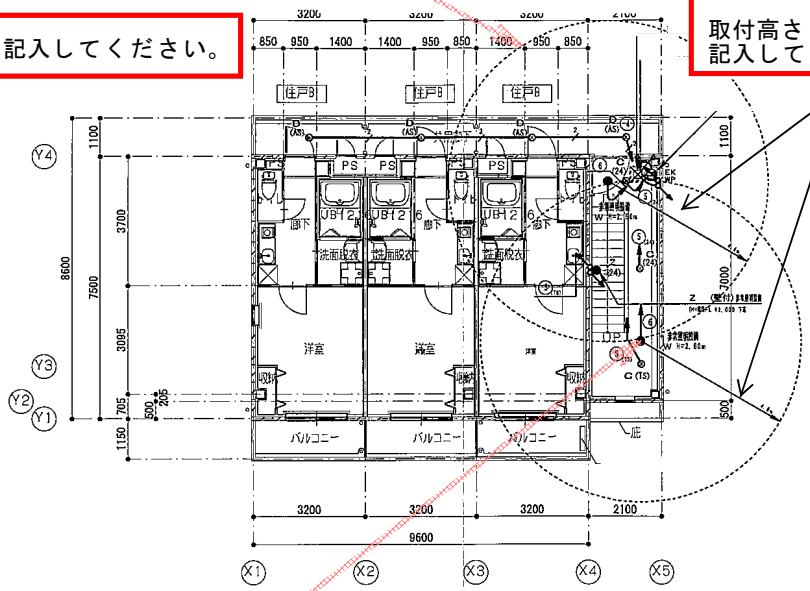
取付高さ・照度範囲を記入してください。



注記
1．特記なき配管配線サイズは系統図参照とする。

１階　平面図　S:1/100

取付高さ・照度範囲を
記入してください。



２階　平面図　S:1/100

非常用の照明装置の位置
明示事項：１２５

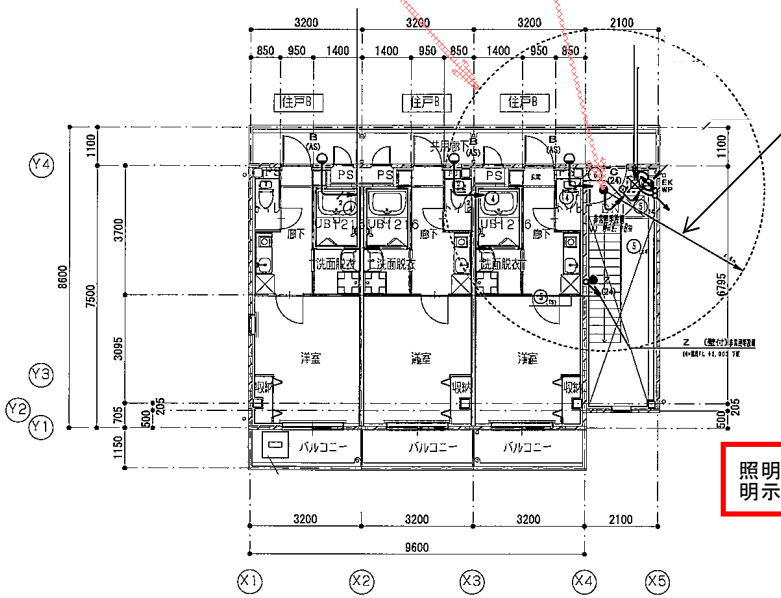
照明装置の位置
明示事項：１７０

特記事項	工事名称	図面名称	縮尺	日付	作図	図面NO.	
	○○共同住宅　新築工事	共用電灯・コンセント設備 １・２階平面図 （非常用の照明装置）	１：１００				○○○○一級建築事務所 一級建築士　○○　○○　㊞ 登録番号 第○○○○号登録年月日 昭和○年○月○日

非常用の照明装置の照度を
確保できる範囲
明示事項：１７１

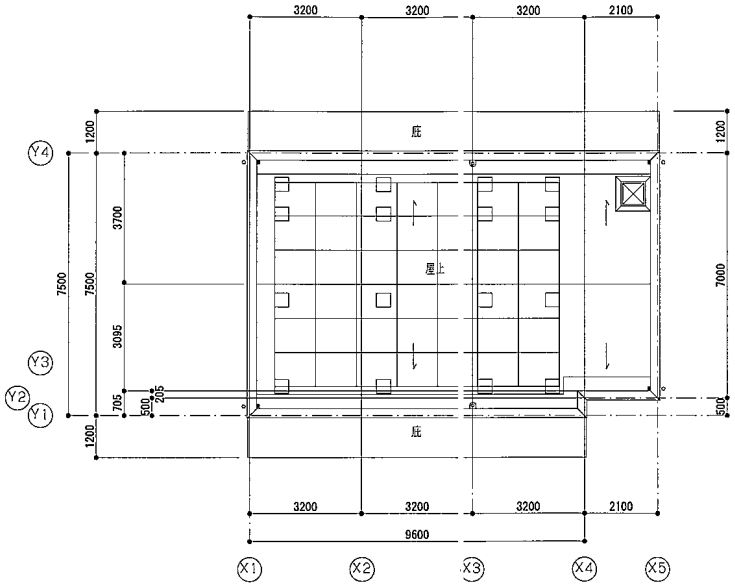
非常用の照明装置の位置
明示事項：１２５

取付高さ・照度範囲を記入してください。



照明装置の位置
明示事項：１７０

３階 平面図　S:１/100



屋根伏図　S:1/100

特記事項	工事名称	図面名称	縮尺	日付	作図	図面NO.	
	○○共同住宅　新築工事	共用電灯・コンセント設備 （非常用の照明装置） 3階平面図・屋根伏図	1 ： 100				○○○○一級建築事務所 一級建築士　○○　○○　㊞ 登録番号 第○○○○号登録年月日 昭和○年○月○日

防火戸制御設備

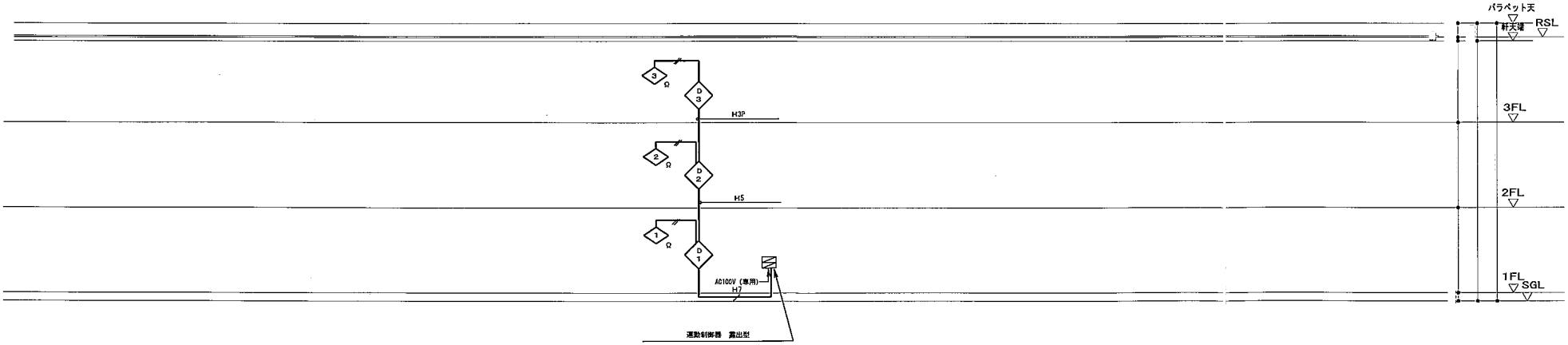
凡　例

記号	名称	備考
	防火戸連動操作盤	3回試験（予備CL）　露出型 DC24V120mAh　ニッケル水素蓄電池 BCJ適合 参考寸法　500H×300W×125D
S	光電式スポット型感知器	検定品3種　（埋込型・非蓄積型）
S	光電式スポット型感知器	検定品3種　（埋込型・非蓄積型）
E D	防火戸閉鎖装置	ラッチ式　DC24V　0.3A
Ω	終端抵抗	10KΩ
H1	動作表示器号　防火戸用	NO. 1～3
H2	動作表示器号　連動感知器用	NO. 1～3
	ジョイントボックス	
	配管配線　立ち上げ・立ち下げ	
	配管配線	床いんぺい又はスラブ打ち込み
	配管配線	天井いんぺい又はスラブ打ち込み
	配管配線	地中埋設
	注　記	
1．区画壁貫通又は、隣接は前後1m以上RC内打ち込みとするか金属管でケーブル保護する。		

防火設備の構造、材料の種別及び寸法
明示事項：５７

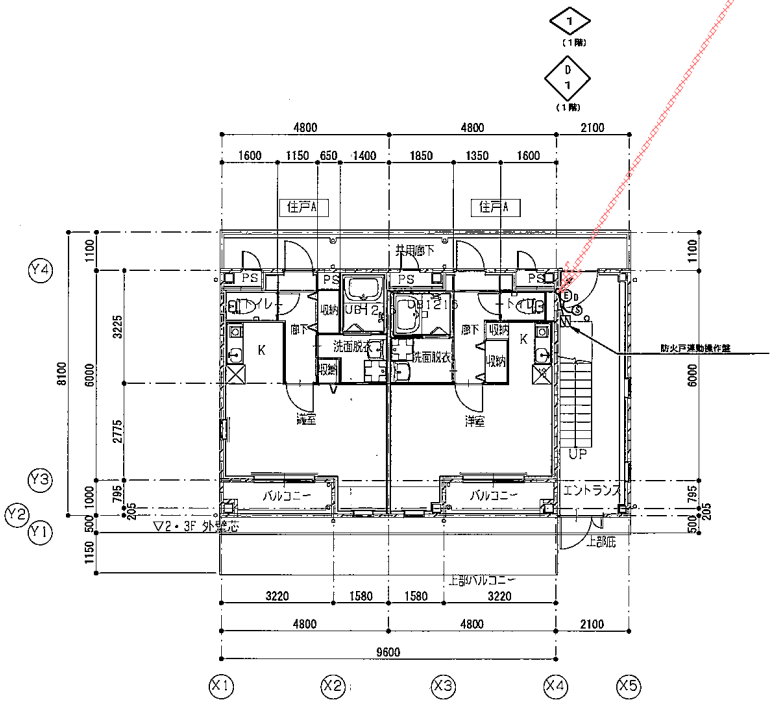
配管配線サイズ（二重天井内は配管不要とする。）

記号	配管配線
	AE0.5-2C (CD16)
H3P	HP 0.5-3Pr (CD16)
H5	HP 0.5-3Pr (CD14)
H7	HP 0.5-3Pr (CD22)

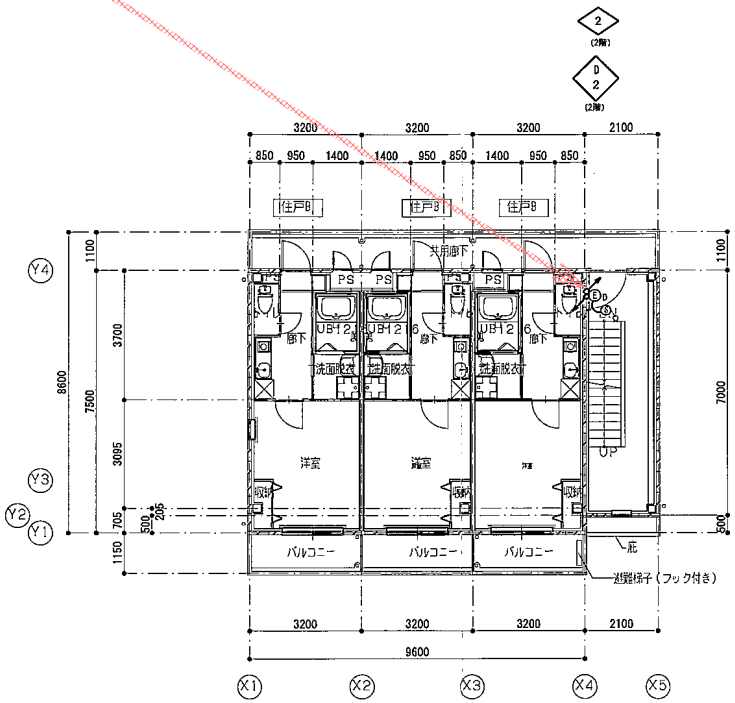


特記事項	工事名称	図面名称	縮尺	日付	作図	図面NO.	
	○○共同住宅　新築工事	防火戸制御設備 系統図	—				○○○○一級建築事務所 一級建築士　○○　○○　㊞ 登録番号 第○○○○号登録年月日 昭和○年○月○日

防火設備の位置及び種別
明示事項：５６



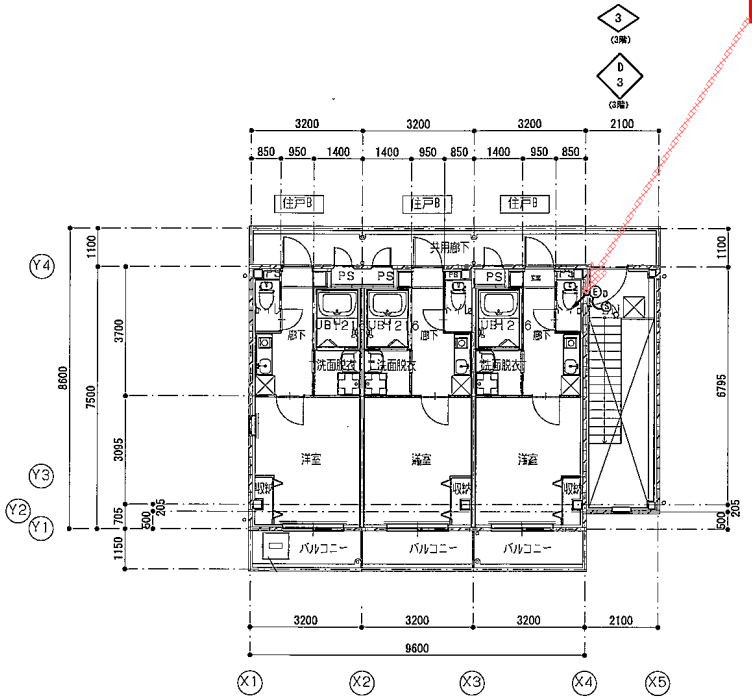
１階　平面図　S:1/100



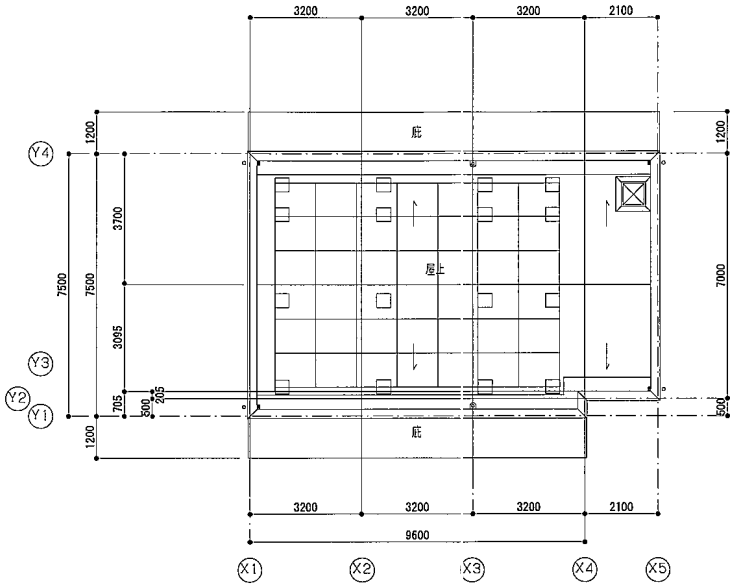
２階　平面図　S:1/100

特記事項	工事名称	図面名称	縮尺	日付	作図	図面NO.	
	○○共同住宅　新築工事	防火戸制御設備 １・２階平面図	１：１００				○○○○一級建築事務所 一級建築士　○○　○○　㊞ 登録番号 第○○○○号登録年月日 昭和○年○月○日

防火設備の位置及び種別
明示事項：５６



３階 平面図　S:１/100



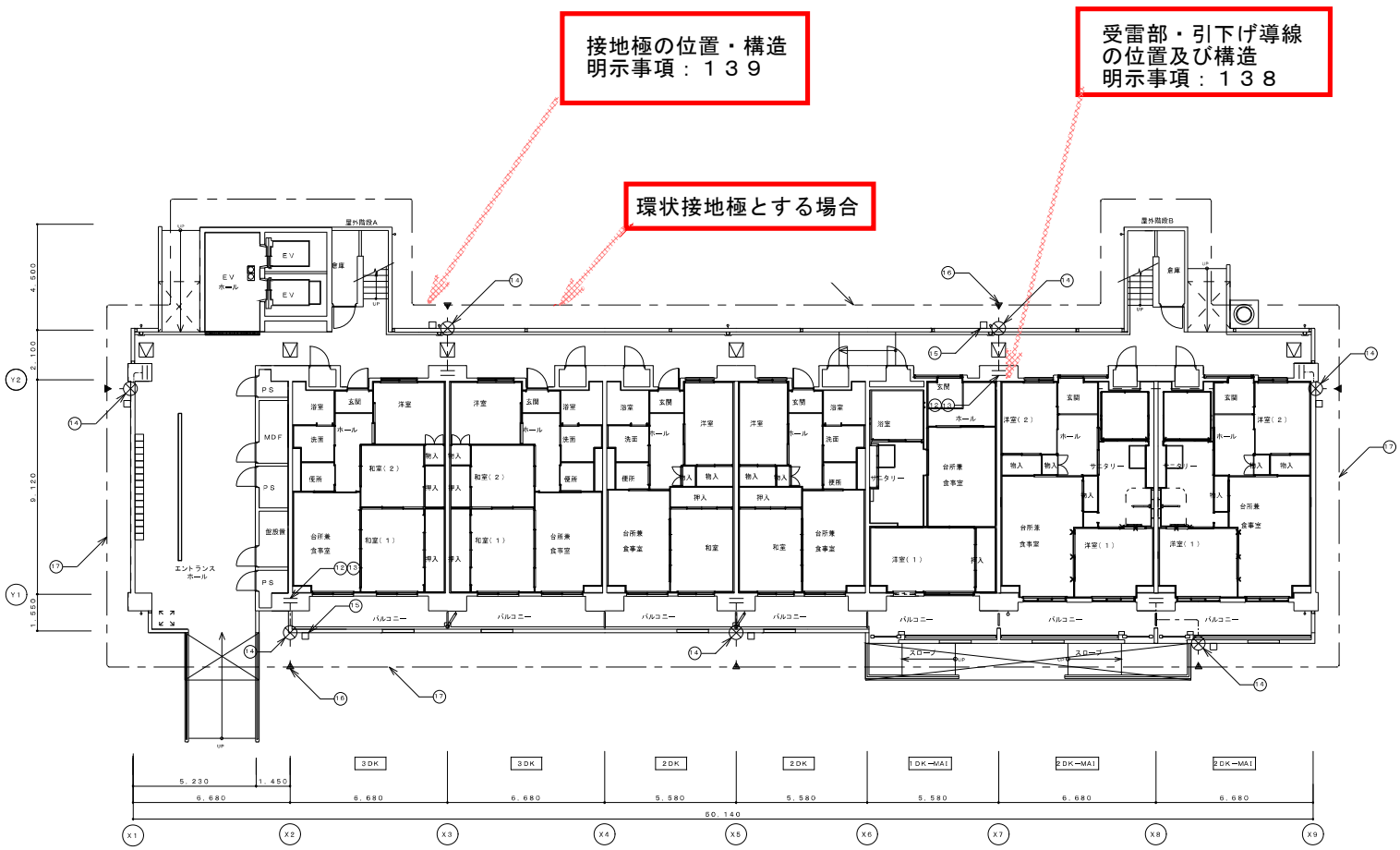
屋根伏図　S：1/100

特記事項	工事名称	図面名称	縮尺	日付	作図	図面NO.	
	○○共同住宅　新築工事	防火戸制御設備 3階平面図・屋根伏図	1 ： 100				○○○○一級建築事務所 一級建築士　○○　○○　㊞ 登録番号 第○○○○号登録年月日 昭和○年○月○日

接地極の位置・構造
明示事項：１３９

受雷部・引下げ導線
の位置及び構造
明示事項：１３８

環状接地極とする場合



１階平面図　　１／１００

訂正	連絡
平成　年　月	日
・　・	
・　・	
・　・	

工事名称：○○住宅新築工事

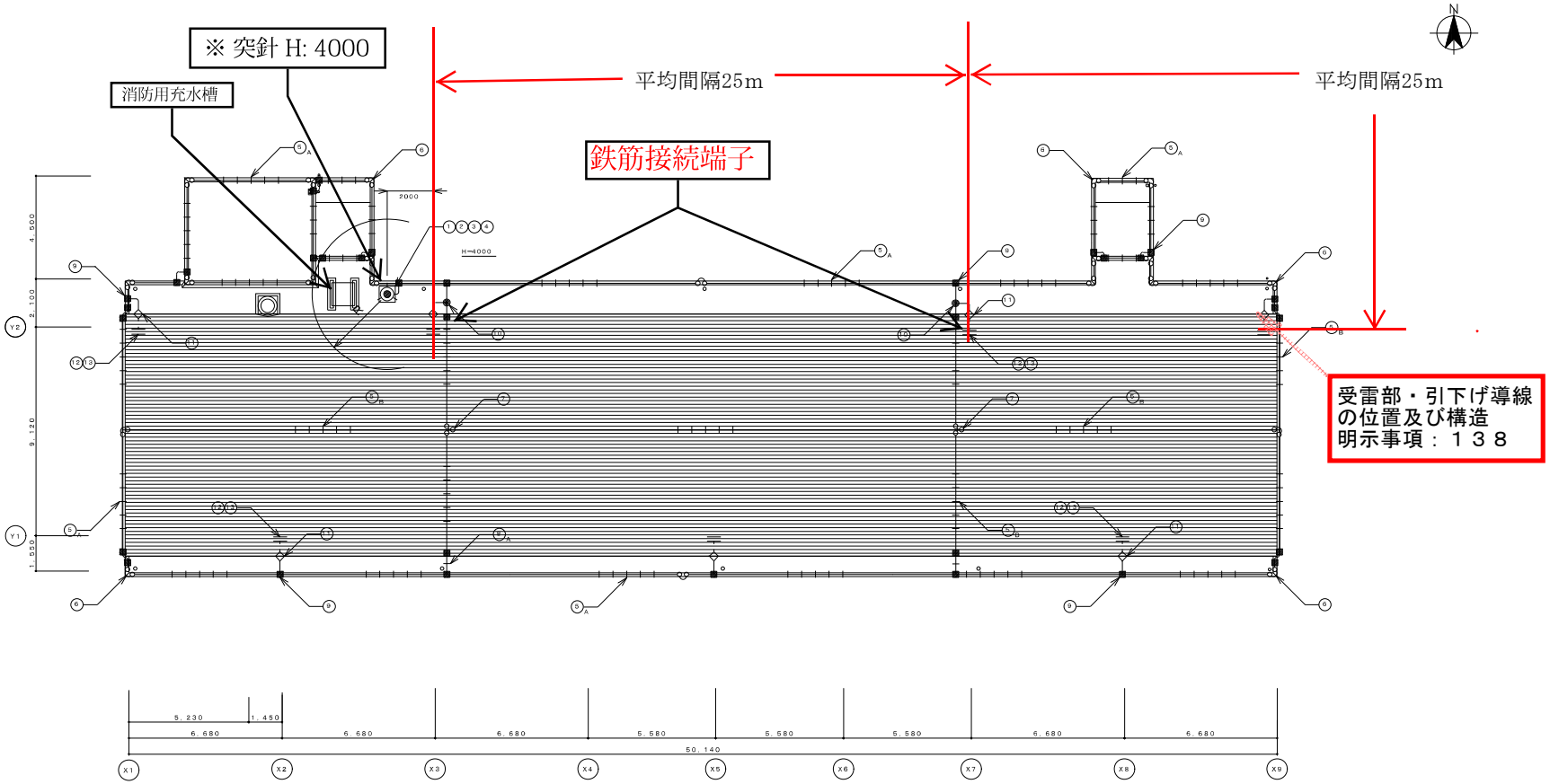
図面名称：雷保護設備１階平面図

○○○○一級建築事務所
一級建築士　○○　○○　㊞
登録番号 第○○○○号登録年月日 昭和○年○月○日

縮尺　A1 － 1／100　A3 － 1／200

設計　代表者　担当

図面番号

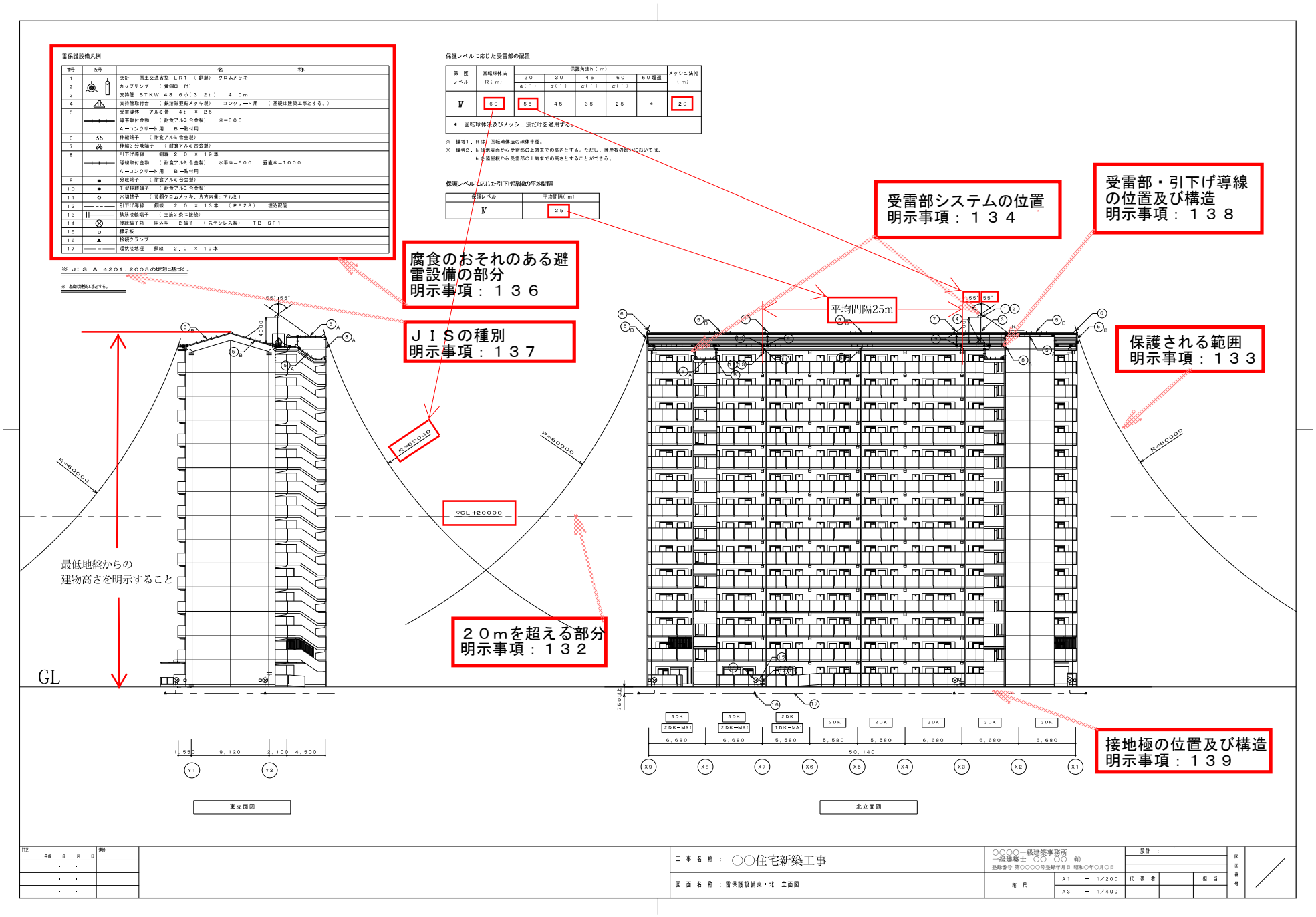


屋根伏図　　S：1/100

受電部システムの配置
明示事項：１３５

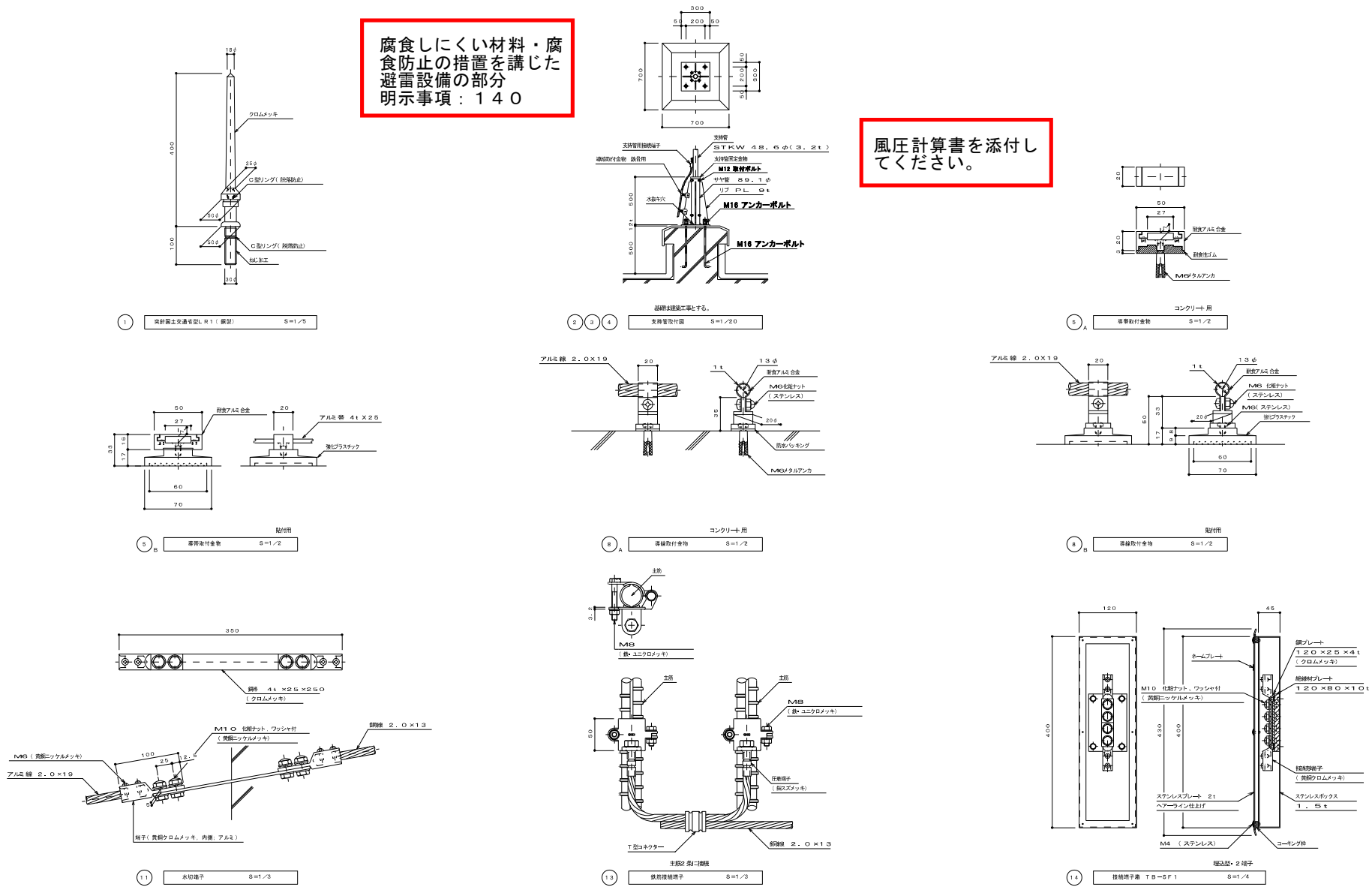
※ 基礎は建築工事とする。

訂正 平成 年 月 日	工事名称：○○住宅新築工事	○○○○一級建築事務所 一級建築士 ○○ ○○ 登録番号 第○○○○号登録年月日 昭和○年○月○日	設計
	図面名称：雷保護設備 屋根伏図	縮尺 A1 ― 1/100 A3 ― 1/200	代表者 担当


雷保護設備凡例
保護レベルに応じた受雷部の配置
保護レベルに応じた引下げ導線の平均間隔
※ JIS A 4201：2003の規定に基づく。
※ 基礎は建築工事とする。
腐食のおそれのある避雷設備の部分
明示事項：１３６
ＪＩＳの種別
明示事項：１３７
受雷部システムの位置
明示事項：１３４
受雷部・引下げ導線の位置及び構造
明示事項：１３８
保護される範囲
明示事項：１３３
平均間隔25m
最低地盤からの建物高さを明示すること
GL
２０ｍを超える部分
明示事項：１３２
接地極の位置及び構造
明示事項：１３９
東立面図
北立面図
工事名称：○○住宅新築工事
図面名称：雷保護設備東・北 立面図
○○○○一級建築事務所
一級建築士 ○○ ○○
A1 － 1/200
A3 － 1/400

腐食しにくい材料・腐食防止の措置を講じた避雷設備の部分
明示事項：１４０

風圧計算書を添付してください。



訂正	年 月 日	承認
	・ ・	
	・ ・	
	・ ・	

工事名称：○○住宅新築工事

図面名称：雷保護設備機器詳細図

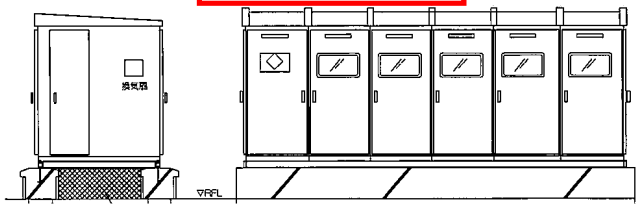
○○○○一級建築事務所
一級建築士 ○○ ○○ ㊞
登録番号 第○○○○号登録年月日 昭和○年○月○日

縮尺 A1 － N・S　A3 － N・S

設計　代表者　担当　図面番号

屋上に設置する場合

屋上から突出する水槽、煙突等の構造計算の基準
明示事項：１



【キュービクル参考姿図】

高圧受電の場合

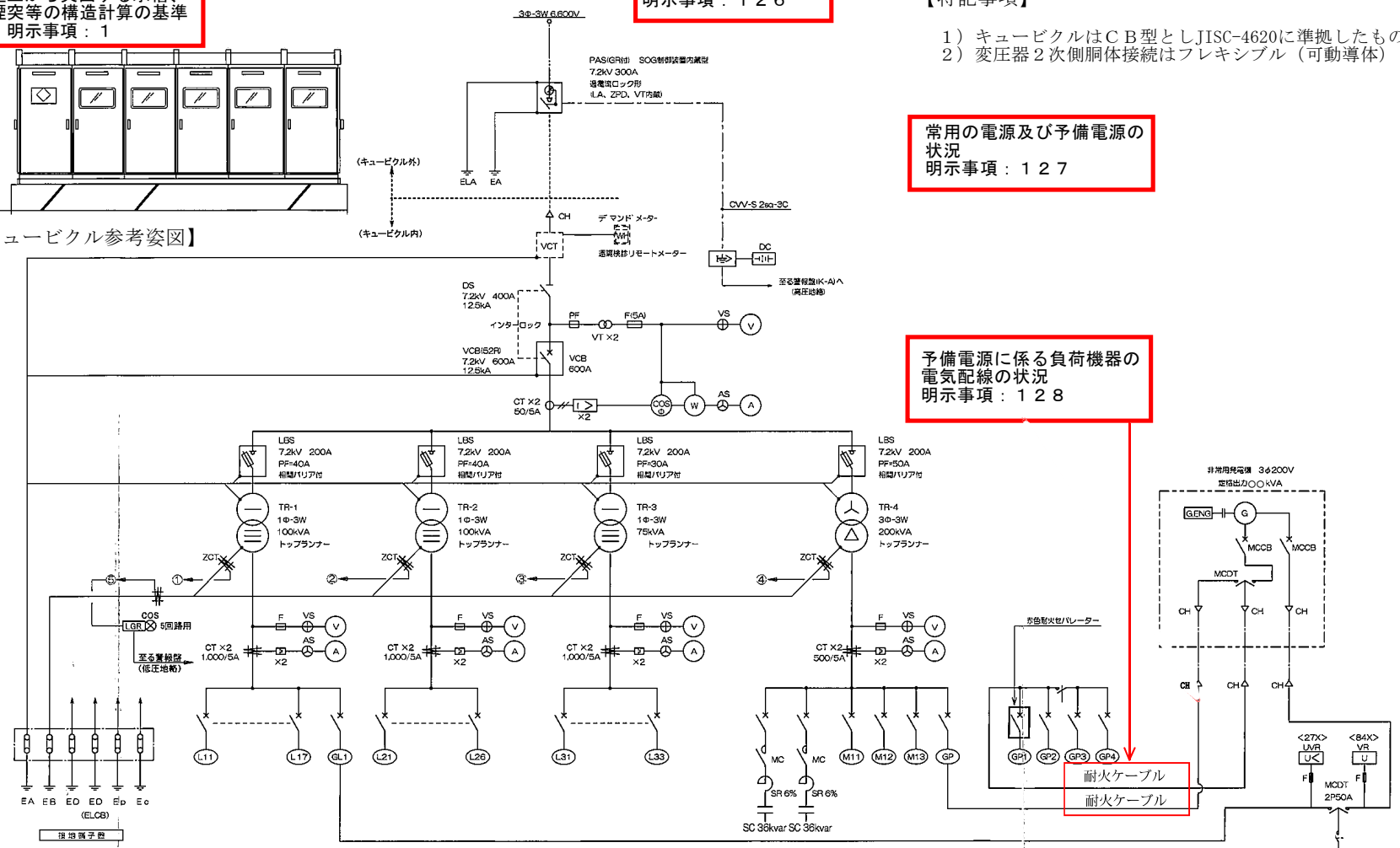
受電設備の電気配線の状況
明示事項：１２６

【特記事項】

１）キュービクルはＣＢ型としJISC-4620に準拠したものとする。
２）変圧器２次側胴体接続はフレキシブル（可動導体）とする。

常用の電源及び予備電源の状況
明示事項：１２７

予備電源に係る負荷機器の電気配線の状況
明示事項：１２８



凡例

記号	名称
PAS	高圧気中開閉器
CH	ケーブルヘッド
SOG	地絡方向継電器
DC	蓄電池
VCT	計器用変圧変流器
3PDS	3極開閉器
PF F	限流ヒューズ
VS	電圧計切替器
AS	電流計切替器
V	電圧計
A	電流計
VCB	真空遮断器
CT	変流器
COSφ	力率計
W	電力計
TR	変圧器
LBS	高圧負荷開閉器
ZCT	零相変流器
LA	避雷器
DS	断路器
MC	電磁接触器
SR	直流リアクトル
SC	進相コンデンサ
OCR	過電流継電器
VT	計器用変圧器
LGR	低圧地絡継電器
MCDT	双投形電磁接触器

配電盤リスト

TR-1 Tr 1Φ 100kVA

幹線番号	開閉器容量	負荷名称	負荷容量 (kVA)	負荷容量 (kW)
L1				
L11	MCCB 3P 150AF／150AT	1L-1 共用電灯		
L12	MCCB 3P 150AF／125AT	1L-2 〃		
L13	MCCB 3P 100AF／75AT	1M-1 動力 電灯		
L14	MCCB 3P 225AF／225AT	2L-1～6L-1 共用電灯		
L15	MCCB 3P 50AF ／ 20AT	舞台内電源		
L16	MCCB 3P 50AF ／ 20AT	LGR		
L17	MCCB 3P 100AF／100AT	予備	——	
GL1	MCCB 3P 50AF ／ 30AT	発電機一次入力		
		合計負荷容量		

TR-2 Tr 1Φ100kVA

幹線番号	開閉器容量	負荷名称	負荷容量 (kVA)	負荷容量 (kW)
L2				
L21	MCCB 3P 225AF／150AT	2階住戸		
L22	MCCB 3P 225AF／150AT	3階住戸		
L23	MCCB 3P 225AF／150AT	4階住戸		
L24	MCCB 3P 100AF／100AT	予備	——	
		合計負荷容量		

TR-3 Tr 1Φ 75kVA

幹線番号	開閉器容量	負荷名称	負荷容量 (kVA)	負荷容量 (kW)
L3				
L31	MCCB 3P 225AF／150AT	5階住戸		
L32	MCCB 3P 225AF／150AT	6階住戸		
L33	MCCB 3P 100AF／100AT	予備	——	
		合計負荷容量		

TR-4 Tr 3Φ 200kVA 6,600/210V

幹線番号	開閉器容量	負荷名称	負荷容量 (kVA)	負荷容量 (kW)
GP	MCCB 3P 150AF／125AT	発電機一次入力		
GP1	MCCB 3P 100AF／100AT	スプリンクラーポンプ		
GP2	MCCB 3P 60AF／40AT	直結増圧給水ポンプ		
GP3	MCCB 3P 100AF／50AT (インバーター専用回路)	エレベーター		
GP4	MCCB 3P 50AF／40AT			
M1				
M11	MCCB 3P 125AF／125AT	1LM-1		
M12	MCCB 3P 400AF／300AT	RM-1		
M13	MCCB 3P 100AF／100AT	予備		
		合計負荷容量		

単線結線図

○○○○一級建築事務所
一級建築士 ○○ ○○ ㊞
登録番号 第○○○○号登録年月日 昭和○年○月○日

非常用発電機設備を設置する場合

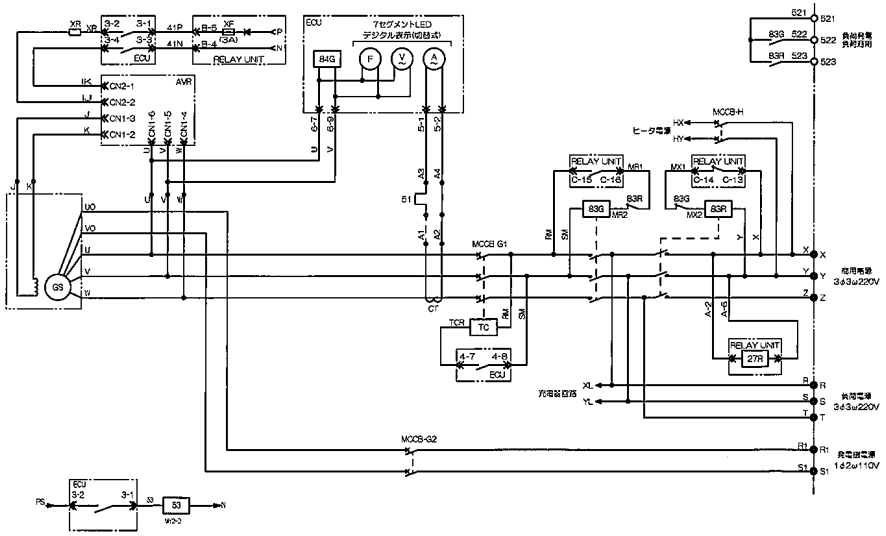
予備電源の容量及びその算出方法
明示事項：１３０

要目表

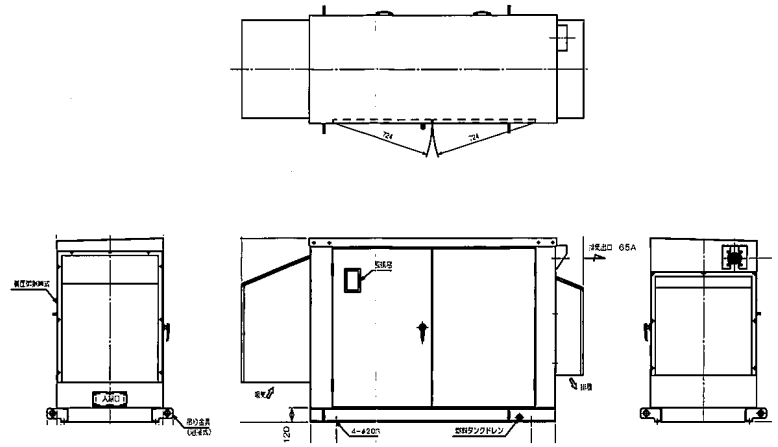
機種名称			AP65C−S（屋外）低騒音型				
発電機	形式		横軸回転界磁形同期発電機	エンジン	形式		立形水冷4サイクルディーゼル機関
	容量		○○KVA		燃焼方式		直噴機械式
			○○ kW		定格出力		kW
	電圧		220V		回転速度		1800min⁻¹
	電流		A		総排気量		L
	周波数		60Hz		冷却方式		ラジエータ冷却
	回転速度		1800min⁻¹		冷却水量		L
	相数		3相3線		始動方式		セルモータによる電気始動
	極数		4極		使用燃料	種類	ディーゼル軽油
	力率		80%			搭載タンク容量	35L
	励磁方法		ブラシレス			燃料消費量	L/h
	耐熱クラス	発電機	電機子：F 界磁：H		潤滑油量（全量／有効量）		L
		励磁機	電機子：F 界磁：F		ラジエータファン排風量		m³/min
	保護方式		開放保護形（IP20）		バッテリー	種類	REH
	冷却方式		ICO1（自由通風形）			容量	DC12V−40Ah
	単相出力	電圧	110V	始動時間			秒以内
		容量	4kW	乾燥質量			kg
発電方式			半導体式全自動充電	装備質量			kg
キュービクル	騒音値※		85dB（A）以下	認定			（社）日本内燃力発電設備協会
	塗装色		5Y7/1 半ツヤ				

保護装置一覧表

項目	デバイス	警報表示灯	警報	運転自動停止	主回路遮断	外部信号
潤滑油圧低下	63Q	○	○	○	○	○（一括）
冷却水温度上昇	26W	○	○	○	○	
過回転	12	○	○	○	○	
始動失敗	48T	○	○	○	―	
過電流	51	○	○	×	○	
緊急停止	5E	○	○	○	○	



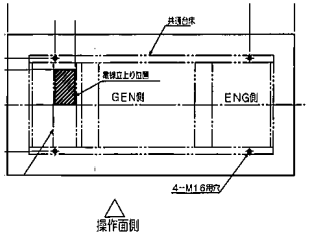
結線図



発電設備外形図（S＝1／20）

（屋上に設置する場合）

屋上から突出する水槽、煙突等の構造計算の基準
明示事項：１



基礎及び電線立上がり位置図（S＝1／20）

○○○○一級建築事務所
一級建築士　○○　○○　㊞
登録番号 第○○○○号登録年月日 昭和○年○月○日

予備電源の容量及びその算出方法
明示事項：１３０

自家発電設備出力計算書

新築工事（非常時）

特性等		
(1)	対象負荷機器 様式-2 のとおり	
(2)	発電機 特性	KG3 = 1.650 KG4 = 0.150 xd'g = 0.250 ΔE = 0.250 ηg = 0.872
(3)	原動機 特性	ε = 1.000 γ = 1.000 a = 0.250
(4)	負荷機器	**D = 1.000 **d = 1.000

自家発電設備		
(1)	種　類	屋外用キュービクル式即時普通形
(2)	形式番号	
(3)	発電機出力 定格出力 ○○ kVA 定格電圧 220 V 定格力率 0.800	極　数 4 極 定格周波数 60 Hz 定格回転速度 1,800 min⁻¹
(4)	原動機出力 原動機の種別 ディーゼル機関（普通形） 定格出力 kW (PS) 使用燃料 軽油	定格回転速度 1,800 min⁻¹
(5)	整合比 1.005	

作成者	会社名	
	氏　名	印
	資　格	

**：1,000未満の場合は、消防設備用出力算定には使用できません。

様式-2　〈最大最終〉　件名：　新築工事（非常時）

自家発電設備出力計算シート（負荷表）

番号	グループ	負荷機器名称	消防設備	記号	台数	換算入出力 kW kVA	出力 mi kW	始制動御方式	単相負荷（kW） R-S	S-T	T-R	需要率 di	分負荷相当出力 Mp kW	M2の選定〈A〉	M3の選定〈B〉	M'2の選定〈C〉	M'3の選定〈D〉
1	単	スプリンクラーポンプ	F-L	ML	1	15.00	15.00	Y	0.00	0.00	0.00	--	15.00				
2	単	給水ポンプ		VF	1	2.20	2.20		0.00	0.00	0.00	--	2.20	0.00			
3	単	給水ポンプ		VF	1	2.20	2.20		0.00	0.00	0.00	--	2.20	0.00			
算　出				負荷出力合計値 K =					0.00	0.00	0.00						
									最大値：A = 0.00 次の値：B = 0.00 最小値：C = 0.00				選定	〈A〉の値が最大となる mi=M2=	〈B〉の値が最大となる mi=M3=	〈C〉の値が最大となる mi=M'2=	〈D〉の値が最大となる mi=M'3=

〈A〉：=ks／Z'm × mi　〈B〉：={ks／Z'm-d／(ηb×cosθb)}× mi　〈C〉：={ks／Z'm×cosθs-(ε-a)×d／ηb} × mi　〈D〉：={ks／Z'm×cosθs-d／ηb} × mi
（ただしエレベーター負荷のときは、各式にUv／nを掛けた値とする。）　グループ欄が"単"の場合は、単機での始動を示す。

様式-3　〈最大最終〉　件名：　新築工事（非常時）

自家発電設備出力計算シート（発電機）

RG1

$$= \frac{1}{\eta L} \times D \times Sf \times \frac{1}{\cos\theta g} = \frac{1}{0.860} \times 1.000 \times 1.000 \times \frac{1}{0.800} =$$

$$\Delta P = A + B - 2C = 0.00 + 0.00 - 2 \times 0.00 = 0.00$$

$$u = \frac{(A - C)}{\Delta P} = \frac{(0.00 - 0.00)}{0.00} =$$

$$Sf = \sqrt{1 + \frac{\Delta P}{K} + \left(\frac{\Delta P}{K}\right)^2 \times (1 - 3u + 3u^2)}$$

$$= \sqrt{1 + \frac{0.00}{19.40} + \left(\frac{0.00}{19.40}\right)^2 \times (1 - 3 \times 1.000 + 3 \times 1.000^2)} =$$

定常負荷出力係数 RG1

RG2

エレベーター 無（○）

$$= \frac{(1 - \Delta E)}{\Delta E} \times xd'g \times \frac{ks}{Z'm} \times \frac{M2}{K}$$

$$= \frac{(1 - 0.250)}{0.250} \times 0.250 \times \frac{0.667}{0.140} \times \frac{}{19.40} =$$

許容電圧降下出力係数 RG2

RG3

$$= \frac{fv1}{KG3} \times \left\{ \frac{d}{(\eta b \times \cos\theta b)} \times \left(1 - \frac{M3}{K}\right) + \frac{ks}{Z'm} \times \frac{M3}{K} \right\}$$

$$= \frac{1.000}{1.650} \times \left\{ \frac{1.000}{(0.800 \times 1.000)} \times \left(1 - \frac{}{19.40}\right) + \frac{0.667}{0.140} \times \frac{}{19.40} \right\}$$

$$= 2.405$$

短時間過電流耐力出力係数 RG3

RG4

$$= \frac{1}{K} \times \frac{1}{KG4} \times \sqrt{(H - RAF)^2 + \left(\Sigma \frac{Ai}{\eta i \times \cos\theta i} + \Sigma \frac{Bi}{\eta i \times \cos\theta i} - 2 \times \Sigma \frac{Ci}{\eta i \times \cos\theta i}\right)^2 \times (1 - 3u + 3u^2)}$$

$$※ H = hb \times \sqrt{\left\{\Sigma \left(\frac{RGi \times hki}{\eta i \times \cos\theta i}\right)\right\}^2 + \left\{\Sigma \left(\frac{R3i \times hki}{\eta i \times \cos\theta i}\right) \times hph\right\}^2}$$

$$= \frac{1}{19.40} \times \frac{1}{0.150} \times \sqrt{(1.69 - 0.00)^2 + (0.00)^2 \times (1 - 3 \times 1.000 + 3 \times 1.000^2)}$$

$$= 0.582$$

許容逆相電流出力係数 RG4

RG = RG < 2 > = RG1,RG2,RG3,RG4のうち最大値

発電機計算出力 G'	G' = RG × K = × = (kVA)	発電機定格出力 G	G =

備　考：GはG'の値の95%以上の値とする。

様式-4　〈最大最終〉　件名：　新築工事（非常時）

自家発電設備出力計算シート（原動機、整合）

RE1

$$= \left(\frac{1}{\eta L}\right) \times D \times \left(\frac{1}{\eta g}\right) = \left(\frac{1}{0.860}\right) \times 1.000 \times \left(\frac{1}{0.872}\right) =$$

定常負荷出力係数 RE1

RE2

$$= \frac{1}{\varepsilon} \times \frac{fv2}{\eta g'} \times \left\{ (\varepsilon - a) \times \frac{d}{\eta b} \times \left(1 - \frac{M'2}{K}\right) + \frac{ks}{Z'm} \times \cos\theta s \times \frac{M'2}{K} \right\}$$

$$= \frac{1}{1.000} \times \frac{1.000}{0.828} \times \left\{ (1.000 -) \times \frac{1.000}{0.800} \times \left(1 - \frac{}{19.40}\right) + \frac{}{0.140} \times 0.500 \times \frac{}{19.40} \right\}$$

$$=$$

許容回転速度変動出力係数 RE2

RE3

$$= \frac{1}{\gamma} \times \frac{fv3}{\eta g'} \times \left\{ \frac{d}{\eta b} \times \left(1 - \frac{M'3}{K}\right) + \frac{ks}{Z'm} \times \cos\theta s \times \frac{M'3}{K} \right\}$$

$$= \frac{1}{1.000} \times \frac{1.000}{0.828} \times \left\{ \frac{1.000}{0.800} \times \left(1 - \frac{}{19.40}\right) + \frac{0.667}{0.140} \times 0.500 \times \frac{}{19.40} \right\}$$

$$=$$

許容最大出力係数 RE3

RE = RE< 3 > = RE1,RE2,RE3 のうち最大値　　RE

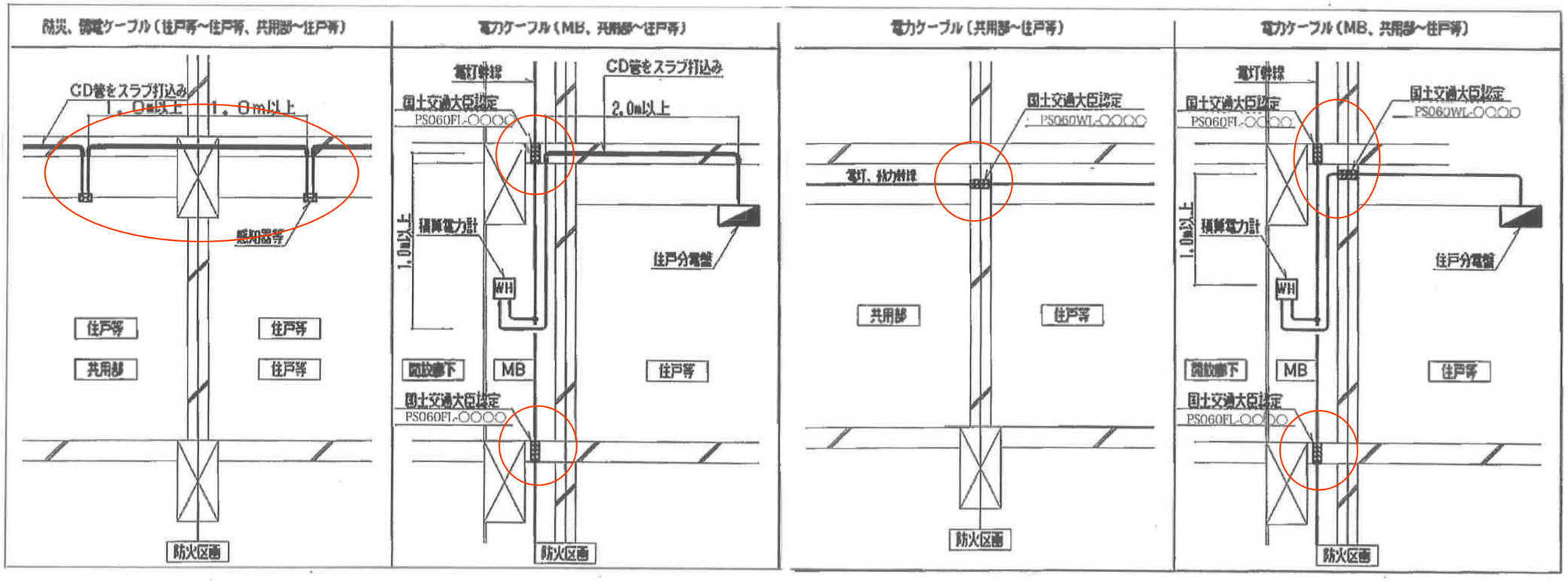
原動機計算出力 E'	E' = RE × K = × = (kW)
整　合	MR' = E' / (G × cosθg) × ηg = / (× 0.800) × =
原動機定格出力 E	MR' = 0.822 MR = 1.005　　E* = (kW)　　E = (kW)

自家発電設備の出力	G = ○○ (kVA)　力率 = 0.800	E = ○○ (kW) (PS)　ディーゼル機関（普通形）

備　考：EはE'又はE*の値以上の値とする。

○○○○一級建築事務所
一級建築士　○○　○○　㊞
登録番号 第○○○○号登録年月日 昭和○年○月○日

区画貫通工法　**参考図**



○ ⇒ すき間を埋める材料の種別
防火区画等を貫通する部分の構造
明示事項　：　62・71・210

設計			
構造			
電気			
設備			

○○○○一級建築士事務所
一級建築士　○○ ○○　㊞
登録番号　第○○○○号　登録年月日　令和○年○月○日

○○○○設計事務所

○○○○共同住宅新築工事

○

No

換気能力及び
有効換気回数
明示事項:115

内装仕上げ材の種別（シックハウス）
明示事項:25

①住戸タイプ	B		①住戸番号	101, 201, 301							
居室ごとの機械換気設備 ②階	1~3 階	1~3 階	1~3 階	1~3 階	1~3 階	1~3 階	1~3 階	1~3 階	1~3 階		階
③室名	居間・食堂	主寝室	洋室	和室	台所	洗面室	浴室	便所	玄関・廊下		
床面積（㎡）	17.80	9.92	7.63	9.72	6.05	3.57	2.92	1.26	4.79		
天井高さ（m）	2.60	2.40	2.40	2.30	2.20	2.20	2.00	2.20	2.26		
気積（㎥）	44.50	23.81	18.32	22.36	13.31	7.86	5.84	2.78	10.83		
換気種別	□第1種換気設備 □第2種換気設備 ■第3種換気設備										
給気量（㎥/h）											
排気量（㎥/h）							100.00				
床面積合計（㎡）	63.66	気積合計（㎥）	149.58	必要有効換気（㎥/h）	74.8	排気量合計（㎥/h）	100.00	換気回数（n/h）	0.66		
④天井裏等への措置 クロゼット内部		□	□								
⑤使用材料		A, B, K	A, B, K								
キッチンセット内部					□						
⑤使用材料					A, G, K						
物入れ	□					□		□			
⑤使用材料	A, B, K					A, K		A, K			
押入れ				□							
⑤使用材料				A, K							
下足入れ内部									□		
⑤使用材料									A, K		
電話台内部	□										
⑤使用材料	A, K										
⑤使用材料											

換気扇:F－2

必要有効換気量・有効換気量・換気回数
明示事項:27.28

■外壁の措置	□	⑤使用材料（特定建材）種別
■間仕切壁1の措置	□	⑤使用材料（特定建材）種別
□間仕切壁2の措置		⑤使用材料（特定建材）種別
■小屋（天井）裏の措置	□	⑤使用材料（特定建材）種別
■中間階天井（床裏）内措置	□	⑤使用材料（特定建材）種別
■最下階床裏の措置	□	⑤使用材料（特定建材）種別
■二重床内措置	□	⑤使用材料（特定建材）種別
⑥品確法自己評価等級（天井裏等）	□3 □2	

記入上の注意（換気するエリアが2以上になる場合は換気エリアごとに別紙にて作成して下さい）
①:「住戸タイプ」「住戸番号」は共同住宅の場合のみ記入して下さい。
②:「階」は同一の機械換気システムを利用する室が複数の階にある場合のみに記入して下さい。
③:室名は同一の機械換気システムを利用するすべての室名を記入して下さい。
④:天井裏等への措置はその部位名（収納スペース等）を記載し、「建材の種別」又は「換気の措置」を下記の四つの中から選択し記号を記載して下さい。
⑤:品確法の住宅性能表示の申請をする場合は使用材料の種別を下記の材料種別の中から選択し記号で記入して下さい。（複数の記入は可）
⑥:品確法の住宅性能表示の申請をする場合は自己評価等級を記入して下さい。（使用している建材の中の最低の等級を記載して下さい）
・天井裏等への措置（キッチンセット内部、収納スペース内部、物置内部等を含む）
イ:規制対象外建材を使用（F☆☆☆☆） ロ:第3種建材を使用（F☆☆☆） ハ:気密層又は通気止め措置 ニ:天井裏等を機械換気（居室より負圧）
・建築材料の種別（R、Sは品確法対応の分類項目）
A:合板 B:木質系フローリング C:構造用パネル D:集成材 E:単板積層材 F:MDF G:パーティクルボード
H:その他の木質建材 I:ユリア樹脂板 J:壁紙 K:接着剤（2次加工，現場施工） L:保温材 M:緩衝材 N:断熱材
O:塗料（現場施工） P:仕上塗材（現場施工） Q:接着剤（現場施工） R:製材等【品確法】 S:その他【品確法】
K 接着剤:壁紙用でん粉系接着剤及びホルムアルデヒド水溶液を用いた建具用でん粉系、ユリア樹脂系接着剤
Q 接着剤:ユリア樹脂等を用いた酢酸ビニル系溶剤形、ゴム系溶剤形、ビニル共重合樹脂系溶剤形及び再生ゴム系溶剤形接着剤

①住戸タイプ名
B
①住戸番号
101, 201, 301

・クロルピリホスの使用
□有り ■無し

・ホルムアルデヒドを発散する建材の面積制限が適用されない場合
□居室に中央管理方式の空調設備を設置
□居室が大臣認定を受けたもの（令20条の7）
□居室の内装に第1種・第2種・第3種建築材料を使用しないもの（規制対象外建築材料のみ使用）

・換気設備の換気回数を選択してください
□0.7回/h以上
■0.5回/h以上

・ホルムアルデヒド建材種別の記号を表中に記入して下さい

－:規制対象外
3:第3種建材
2:第2種建材

・住宅性能評価の申請をする場合は使用材料（特定建材等）の記号を表中⑤に記入してください

A:合板
B:木質系フローリング
C:構造用パネル
D:集成材
E:単板積層材
F:MDF
G:パーティクルボード
H:その他の木質建材
I:ユリア樹脂板
J:壁紙
K:接着剤
（2次加工、現場施工）
L:保温材
M:緩衝剤
N:断熱材
O:塗料（現場施工）
P:仕上塗材（現場施工）
Q:接着剤（現場施工）
R:製材等【品確法】
S:その他【品確法】
注）K、Qの接着剤の種別は前ページ注記による

室名 ②（階）（面積）（㎡）	内装の仕上げの部分	⑤使用材料（特定建材）	ホルムアルデヒド建材種別	使用面積（㎡）	面積係数	使用面積小計（㎡）	使用面積合計（㎡）	床面積合計（㎡）	判定	⑥自己評価等級（品確法）
居間・食堂	天井		－ 種		0			63.66		□ 3
	壁		－ 種		0					□ 2
	床		－ 種		0					□ 1
	建具		－ 種		0					
			種							
			種							
階 1~3 階			種							
面積 17.80 ㎡			種							
主寝室	天井		－ 種		0					
	壁		－ 種		0					
	床		－ 種		0					
	建具		－ 種		0					
			種							
階 1~3 階			種							
面積 9.92 ㎡			種							
洋室	天井		－ 種		0					
	壁		－ 種		0					
	床		－ 種		0					
	建具		－ 種		0					
			種							
階 1~3 階			種							
面積 7.63 ㎡			種							
和室	天井		－ 種		0					
	壁		－ 種		0					
	床		－ 種		0					
	建具		－ 種		0					
			種							
階 1~3 階			種							
面積 9.72 ㎡			種							
台所	天井		－ 種		0					
	壁		－ 種		0					
	床		－ 種		0					
	建具		－ 種		0					
			種							
階 1~3 階			種							
面積 6.05 ㎡			種							
洗面室	天井		－ 種		0					
	壁		－ 種		0					
	床		－ 種		0					
	建具		－ 種		0					
			種							
階 1~3 階			種							
面積 3.57 ㎡			種							
浴室	天井		－ 種		0					
	壁		－ 種		0					
	床		－ 種		0					
	建具		－ 種		0					
			種							
階 1~3 階			種							
面積 2.92 ㎡			種							
便所	天井		－ 種		0					
	壁		－ 種		0					
	床		－ 種		0					
	建具		－ 種		0					
			種							
階 1~3 階			種							
面積 1.26 ㎡			種							
玄関・廊下	天井		－ 種		0					
	壁		－ 種		0					
	床		－ 種		0					
	建具		－ 種		0					
階 1~3 階			種							
面積 4.79 ㎡			種							
	天井		－ 種							
	壁		－ 種							
	床		－ 種							
	建具		－ 種							
階 階			種							
面積 ㎡			種							

電工					
設工					
監理					
施工					

A1_1.DWG

○○○○一級建築士事務所
一級建築士 ○○ ○○ 甲
登録番号 第○○○○号 登録年月日 昭和○年○月○日

凡例
±0 SGL±0とする。
±0仕上レベル
-100スラブレベル
FL±0とする。

○○○○設計事務所

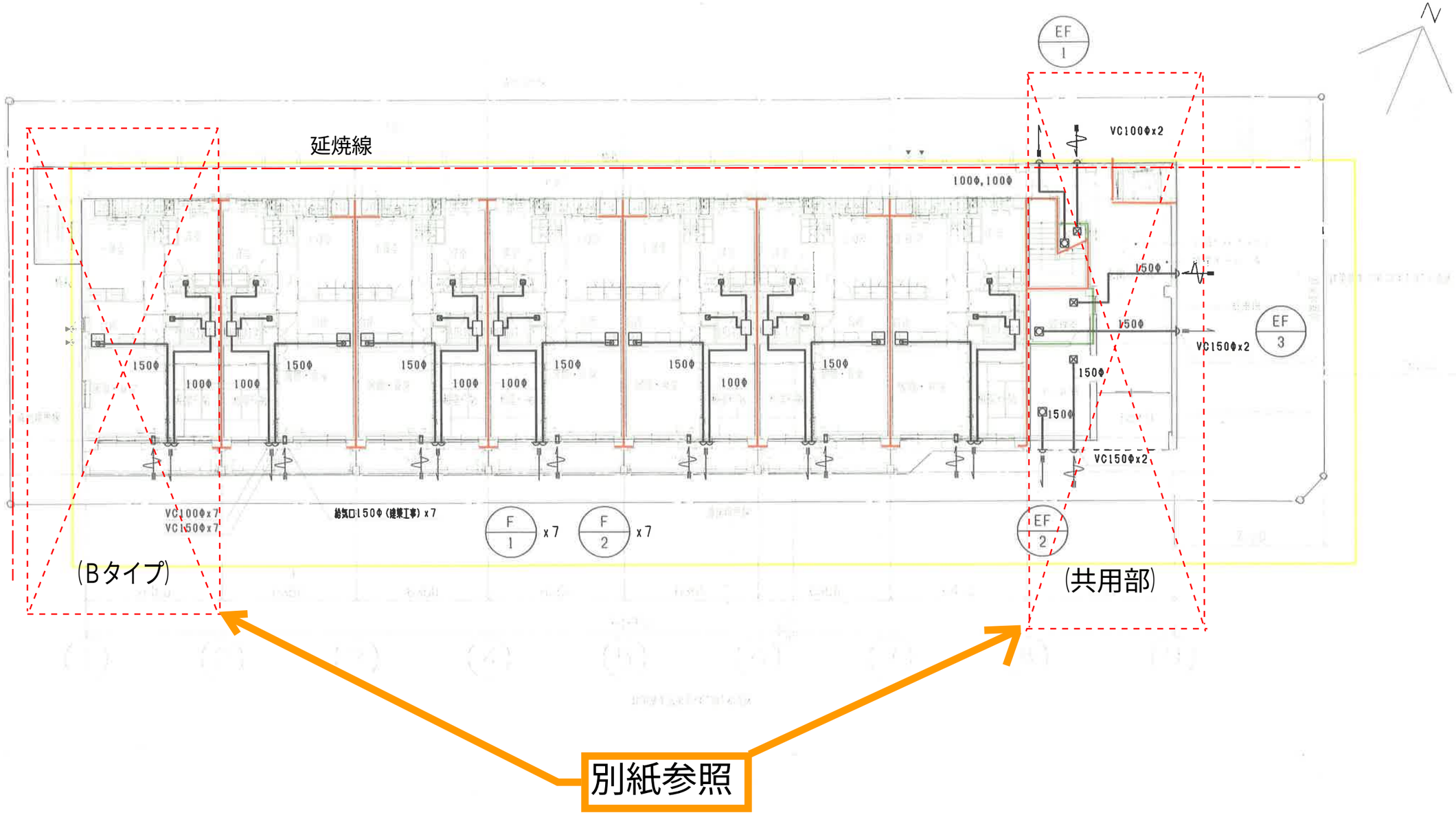
○○○○共同住宅新築工事

意 17

シックハウス・建築材料表

No

1階平面図



設工			
設工			
電場			
施工			

○○○○一級建築士事務所
一級建築士　○○ ○○　㊞
登録番号　第○○○○号　登録年月日　昭和○年○月○日

○○○○設計事務所

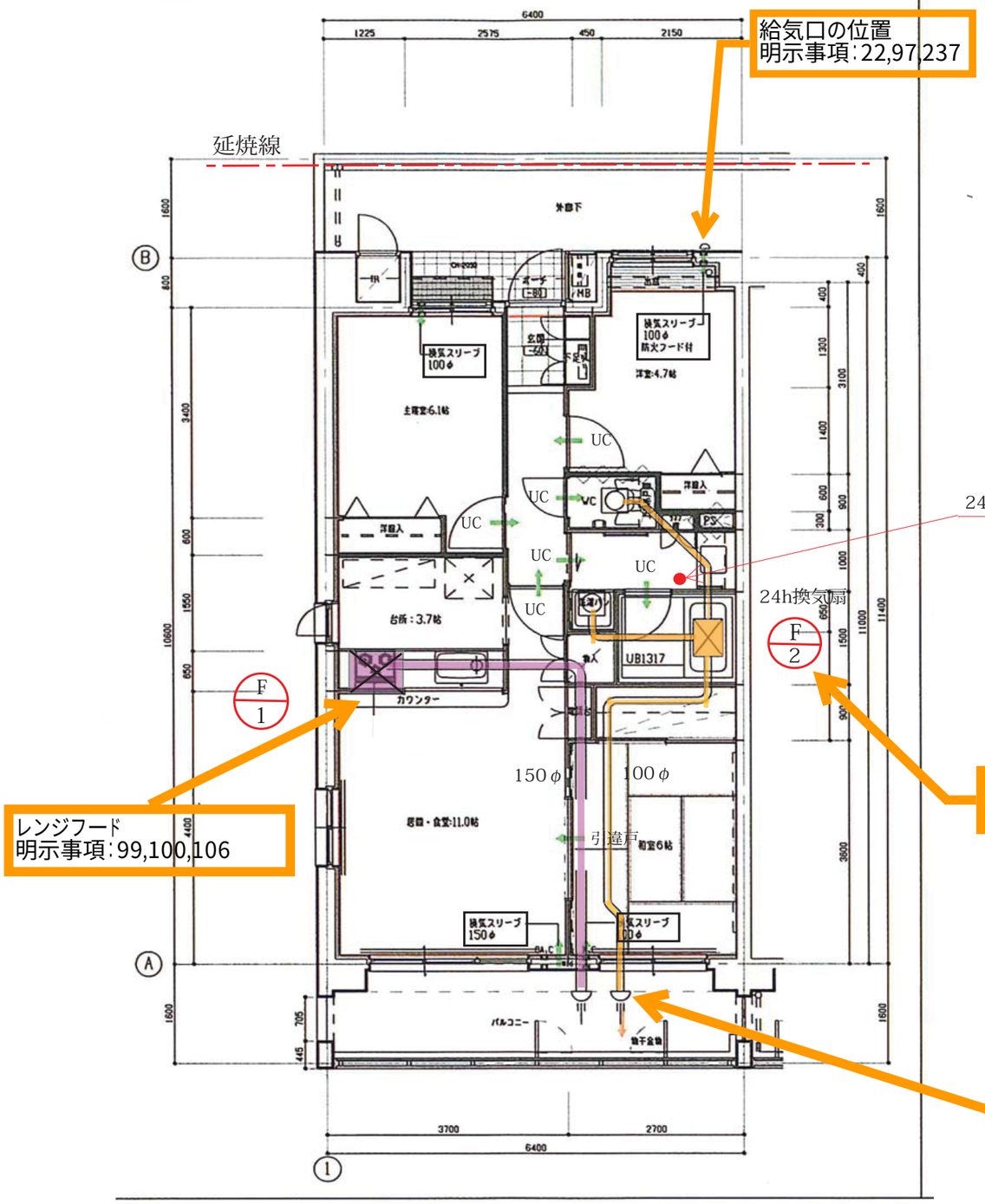
○○○○共同住宅新築工事

機械換気設備図　1階平面図　1/200

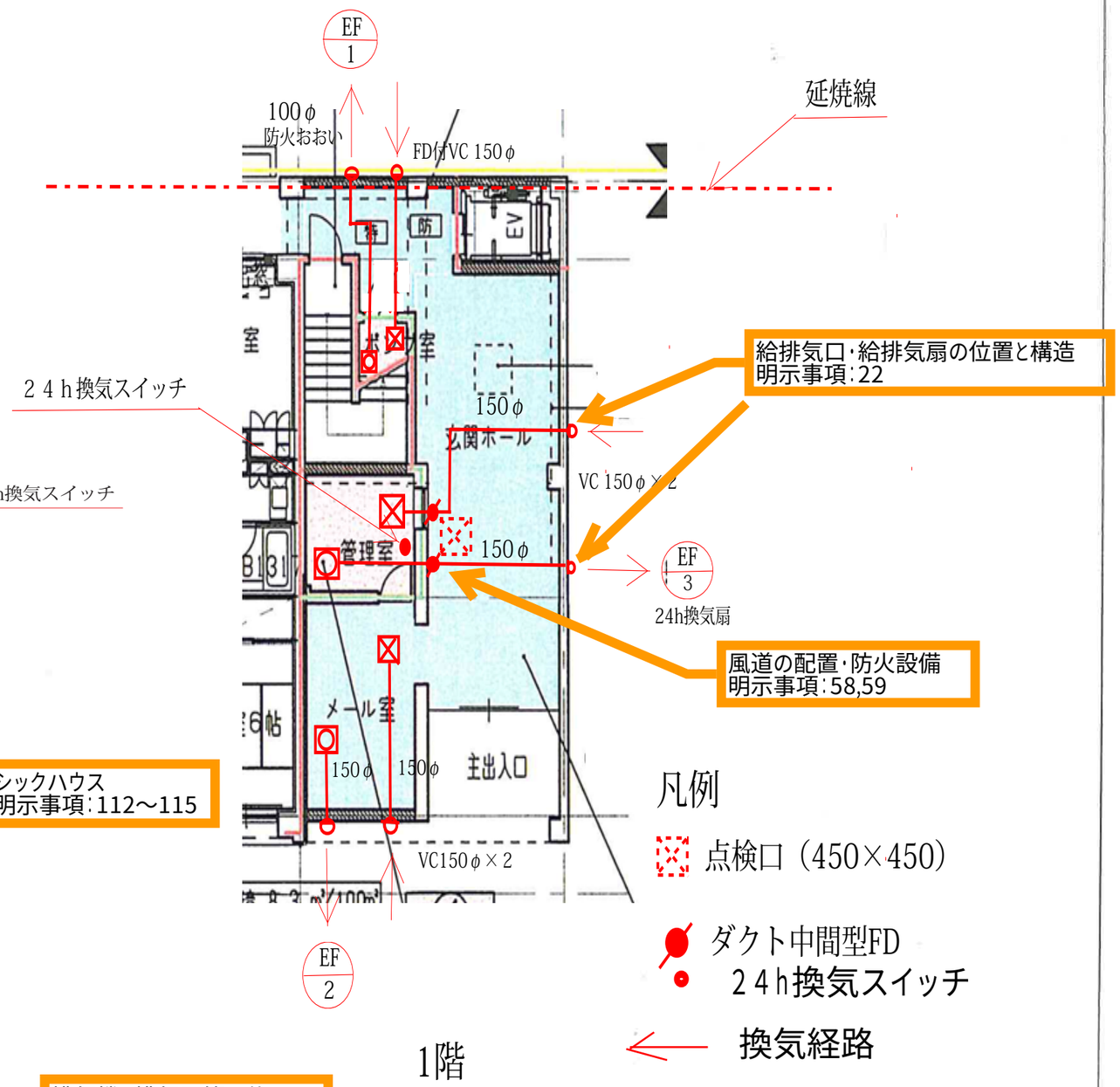
No　－11

換気詳細図

Bタイプ



共用部

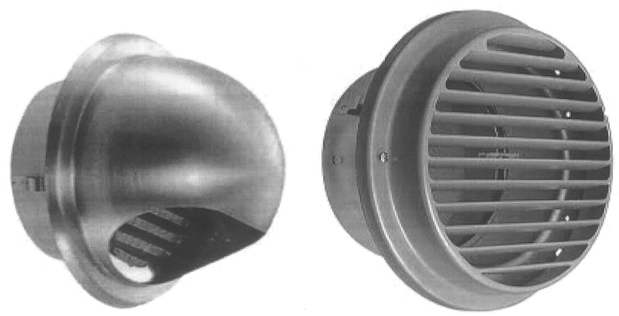


○○○○一級建築士事務所 一級建築士 ○○ ○○	○○○○設計事務所	○○○○共同住宅新築工事	14
		機械換気設備詳細図	

空調換気設備一般特記仕様

1） 排気ＶＣには防鳥網付，給気ＶＣには防虫網付とする。

給排気口の構造
明示事項：242



換気計算書

機械換気計算
明示事項：104

火気換気計算
明示事項：99

換気回数及び
必要有効換気量
明示事項：28

階	室名	床面積 Af (m²)	容積 (m³)	1人当りの占有面積による必要換気量 V1：占有面積 N (m²/人)	人員 (人)	建築基準法施行令による有効換気量 V1＝20Af/N (m³/H)	指定人員による必要換気量 V2：指定人員 (人)	1人当りの外気量 (m³/H)	V2 (m³/H)	燃料ガス量よりの必要換気量 V3：K＝0.93m³/kW・h V3＝30KQ (kW)	V3 (m³/H)	換気回数よりの必要換気量 V4：換気回数 (回/H)	V4 (m³/H)	シックハウスの規定による必要換気量 V5：換気回数 (回/H)	V4 (m³/H)	実際風量 Q (m³/H)	備考
1～3	住戸台所									ガスコンロ 11.65	326					400	F－1
1	給水ポンプ室	1.4	3.1									5	15.5			30	EF－1
1	メール室	12.1	27.8									5	139			100	EF－2
1	管理室	6.3	14.5	10	1	12.6				H2.0	60			0.3	4.35	100	EF－3
1～3	住戸	63.66	149.58											0.3	44.9	100	F－2

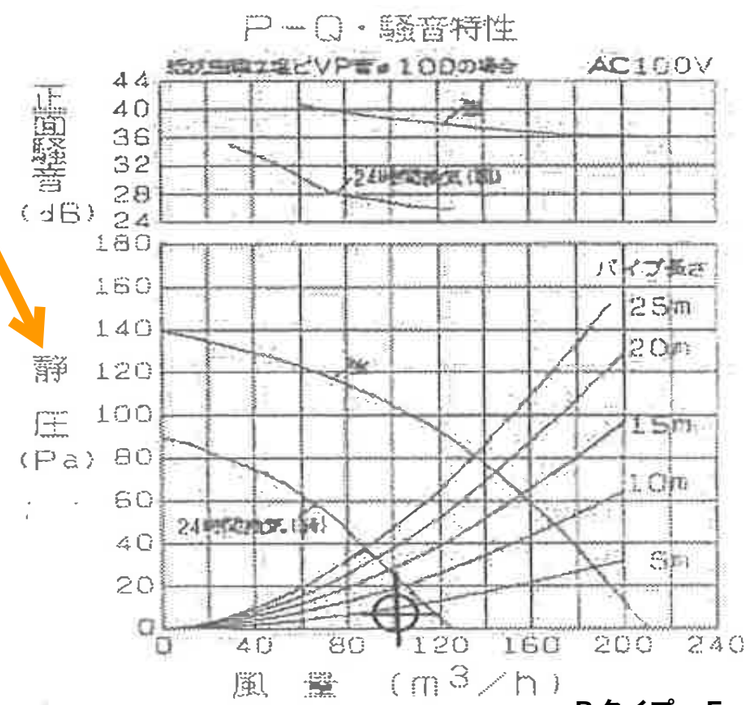
1.換気設備の構造詳細図を添付して下さい。
2.全圧力損失計算書を添付して下さい。
3.全圧力損失計算結果は各換気扇のＰＱ線図にて設計仕様点を明示して下さい。
4.火気換気室の有効換気量は排気フードの形状に応じた定数により算定する。
5.火源から排気フードの下端高さは原則として1m以下とする。

全圧力損失の算出方法
明示事項：116

（各住戸タイップ共通）
1）排気ＶＣには防鳥網付、給気ＶＣには防虫網付とする。
2）換気ダクトの躯体貫通部はモルタル埋めの事。
3）天井内設置ＦＤには点検口を設ける。
4）延焼の恐れのある外壁面に設けるＶＣは防火覆いとする。（給排気ダクトで開口面積が100㎠を超えるものにはＦＤを設ける。）
5）外壁に設けられたＦＤは外部から容易に保守点検が可能とする。

参考記述例

給排気能力算定
明示事項：115



Bタイプ　F－2

○○○○一級建築士事務所 一級建築士 ○○ ○○ ㊞	○○○○設計事務所	○○○○共同住宅新築工事	換 13
		換気設備仕様	No

標準仕様図（1）

配管材料・断熱材料一覧表

配管名称	凡例	仕様（備考）			
給水管	————	ステンレス鋼管（圧送ポンプ2次管～子メーター：配）	ハウジング継手	SUS	JIS G-3448
		（圧送ポンプ1次側非埋設部）			
		外面被覆水道用硬質塩ビライニング鋼管（圧送1次側埋設部）	ネジ継手	SGP-VD	JWWA K-116
		耐衝撃性硬質塩化ビニル管（25φ以下の埋設）	接着継手	HIVP	JWWA K-110
		ポリブデン管（住戸内・サヤ管共） プッシュロック II	メカニカル継手		JIS K-6778
		塩ビライニング鋼管（共用水栓用）	ネジ継手	VB	JWWA K-116
給湯管	—H—	ポリブデン管（住戸内・サヤ管共） プッシュロック II	メカニカル継手		JIS K-6778
ガス管	—G—	ガス会社都度管材，ガス供給者の責任施工とする。	ガス会社による		
		ガス用ポリエチレン管（埋設）	ガス会社による	PE	JIS K-6774
排水管（汚水）	————	**耐火二層管（FDP）**			
		硬質塩化ビニル管（埋設・ピット内） 200φ以上VU	接着継手	VP	JIS K-6741
		排水用鋳鉄管（住戸内の立管から1m以内）	MD継手	CIP	JIS G-5526
		硬質塩化ビニル管（住戸内）	接着継手	VP	JIS K-6741
ポンプアップ排水管	—PU—	タールエポキシ塗装鋼管	ネジ継手	SGP-TA	WSP 032
通気管	————	配管用炭素鋼鋼管	ネジ継手	SGP(B)	JIS K-3452
雨水管（建築工事）	————	硬質塩化ビニル管（埋設 200φ以上VU）	接着継手	VP	JIS K-6741
	═══	浸透トレンチ			
消火管	—X—	配管用炭素鋼鋼管	ネジ継手	SGP(白)	JIS K-3452
監視器環配管	—PT—	ポリブデン管（住戸内・サヤ管共） プッシュロック II	メカニカル継手		JIS K-6778
スパイラルダクト	————	亜鉛鉄板0.6m/m （特記無き部分）			

注）防火区画貫通部は，令129条の2の5及び告示1422号により施工のこと。
耐震設計施工指針により施工のこと。
台所レンジフード及び流し台上部の換気扇ダクトはロックウール50mm＋アルミガラスクロス＋金網巻にて断熱をすること。
配管類 ： 防火区画及び共住区画を貫通する配管については，国土交通大臣の認定品を用い評定施工を行うこと。
ガスの配管設備の施工等は告示第1099号の基準に準じること。

給排水衛生設備住戸特記仕様

給水管・給湯管サイズ（各タイプ共通）※継手はメカニカルタイプとする。

	給水管		給湯管	
	ポリブデン管	サヤ管（CD管）	架橋ポリエチレン管	サヤ管（CD管）
屋水栓～ヘッダー	16	30		
MB～給湯器	16	30	16	30
給湯器～ヘッダー			16	30
台所	13	25	13	25
便器	10	22		
洗面器	10	22	10	22
洗濯機	10	22		
UB	13	25	13	25

1. 特記無き配管は，全て床上コロガシ配管とする。
2. 排水管の管材は，特記無き限り防火区画貫通の前後1m迄ビニル耐火二層管，それ以降はVPとする。
3. 最下階の排水は，平面図による。
4. 各水栓との接続は水栓BOXを設ける。
5. 排水立管及び伸頂通気管にはGW24K＋遮音シート巻き（スラブからスラブ迄）とする。
6. 給水・給湯管で釘打の恐れのある部分は金属保護管にて保護する。
7. 流し台混合水栓，洗面化粧台用混合水栓，便器ロータンクへの立上げ露出給水・給湯管は壁面より支持をとる事。
8. 洗面化粧台の排水トラップ（S型）の接続は底板上部でVP用排水アダプターを使用して行う事。
9. 洗面化粧台の給水・給湯管共底板貫通部にはわん型化粧プレートを取付ける事。
10. 便器の取付けは「排水ソケット」を使用する事。

共住区画貫通の配管・区画貫通処理

※共住区画は以下の箇所とし，ここに使用する配管・区画処理材は以下のいずれかによるものとする。

共住区画
- 住戸～住戸
- 住戸～共用廊下
- 住戸～MB
- 住戸～共用部分
- 住戸～共用室
- 共用部分～共用室

名称	仕様		
給水管	ステンレス鋼管	SUS	JIS G-3448
ガス管	ガス会社指定管材		
排水管	排水用鋳鉄管	CIP	JIS G-5526
通気管	配管用炭素鋼鋼管	SGP(B)	JIS K-3452
MB～住戸の各配管	区画貫通処理材使用		第12-020号

給排水衛生設備一般特記仕様

1) 給水・消火配管の建物導入部には3クッションによる沈下対策を講じる事とする。
2) 通気管防露は外壁（スラブも同様）貫通部より1m及び最上階通気管横引部全長に対し行う事とする。
3) 住戸ガス供給箇所はキッチンガスコンロ，MB給湯機のみとする。（キッチンガスコンロはネジコックにより接続とする。）
4) 排水管はたわみ，抜けその他が生じないよう，支持金物を曲り部分等要所に堅固に取付ける事。
5) 排水管は内面を平滑にする事，肉厚の異なる管同士の接続が無いようにする事。

※下記の項目が該当する場合は、その明示内容を仕様書欄に記載してください。

- 材料に応じ腐食防止のために講じた措置……明示事項：214
- 水槽、流し等の飲料水配管設備への逆流防止の措置……明示事項：216
- 給水管の凍結のおそれのある部分に講じた措置……明示事項：217
- 金属製給水タンク等に講じたさび止め措置……明示事項：218
- 給水管に講じたウオーターハンマー防止措置……明示事項：219
- ガス栓の金属管等への接合方法……明示事項：220
- ガスが過流出した場合に自動的にガスの流出を停止することができる機構の種別……明示事項：221
- 排水トラップの深さ及び汚物等が付着沈殿しない措置……明示事項：222
- 配管設備に用いる材料の種別……明示事項：234
- ガス事業法（ガス事業法第40条の4）……明示事項：337・338・341～344・348・349・354
- 液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律（LPガス・第38条の2）
  ……明示事項：365～367・370・371
- 水道法（水道法第16条）……明示事項：358

※上記記載内容については、別途平面図・系統図等を添付してください。

監理			
施工			

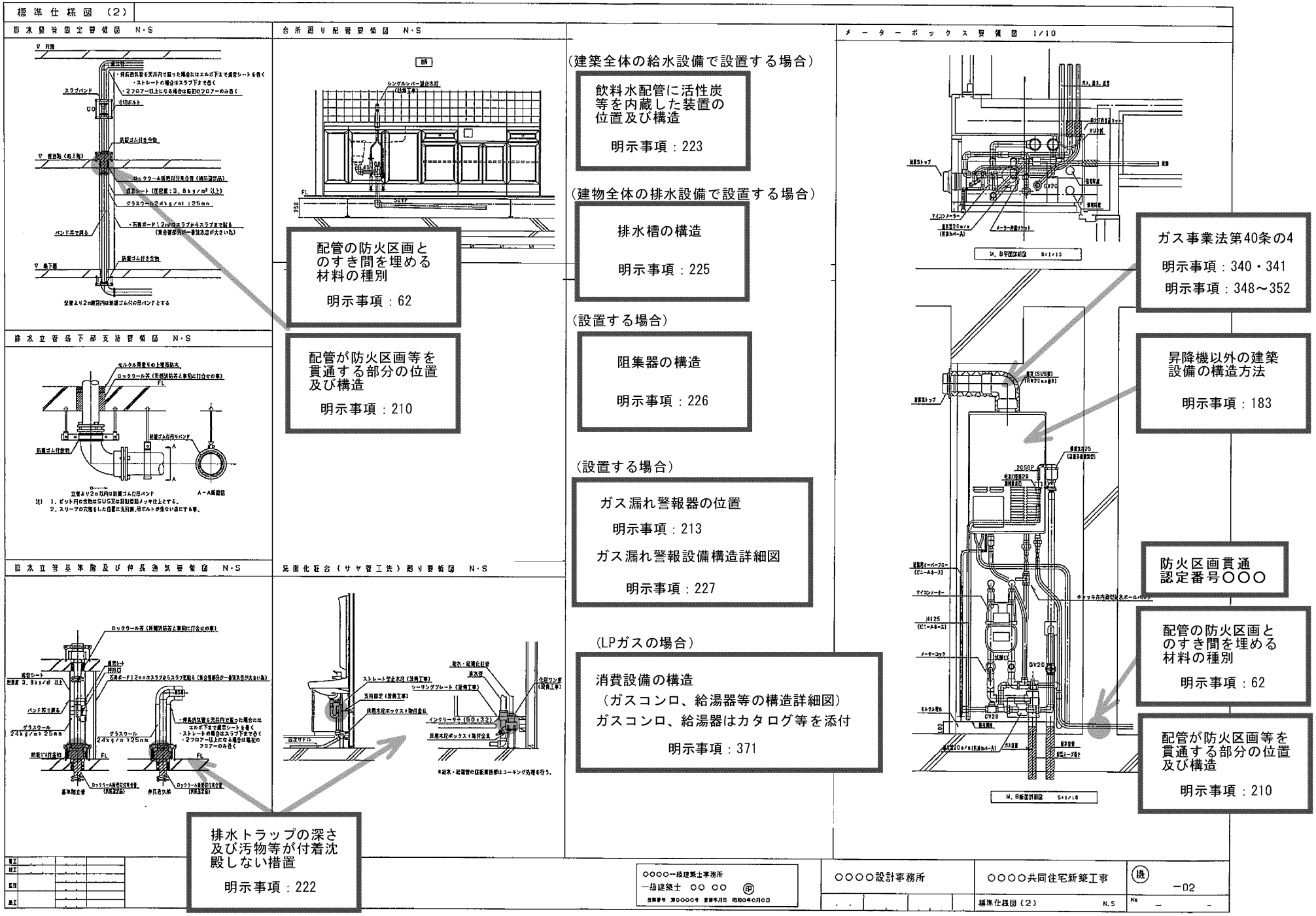
○○○○一級建築士事務所
一級建築士 ○○ ○○ ㊞
登録番号 第○○○○号 登録年月日 昭和○○年○月○日

○○○○設計事務所

○○○○共同住宅新築工事

標準仕様図（1） N.S

No. 一01


標準仕様図（2）
排水竪管固定要領図 N・S
台所廻り配管要領図 N・S
メーターボックス要領図 1/10
排水立管基礎下部支持要領図 N・S
排水立管基準階及び伸長通気要領図 N・S
流面化粧台（サヤ管工法）廻り要領図 N・S
（建築全体の給水設備で設置する場合）
飲料水配管に活性炭等を内蔵した装置の位置及び構造
明示事項：223
（建物全体の排水設備で設置する場合）
排水槽の構造
明示事項：225
（設置する場合）
阻集器の構造
明示事項：226
（設置する場合）
ガス漏れ警報器の位置
明示事項：213
ガス漏れ警報設備構造詳細図
明示事項：227
（LPガスの場合）
消費設備の構造
（ガスコンロ、給湯器等の構造詳細図）
ガスコンロ、給湯器はカタログ等を添付
明示事項：371
配管の防火区画とのすき間を埋める材料の種別
明示事項：62
配管が防火区画等を貫通する部分の位置及び構造
明示事項：210
ガス事業法第40条の4
明示事項：340・341
明示事項：348～352
昇降機以外の建築設備の構造方法
明示事項：183
防火区画貫通認定番号○○○
配管の防火区画とのすき間を埋める材料の種別
明示事項：62
配管が防火区画等を貫通する部分の位置及び構造
明示事項：210
排水トラップの深さ及び汚物等が付着沈殿しない措置
明示事項：222
○○○○一級建築士事務所
一級建築士 ○○ ○○
○○○○設計事務所
○○○○共同住宅新築工事
標準仕様図（2） N.S
-02

機器表

記号	機器名称	仕様	電気 相電圧	電気 KW	電気 起動	台数	設置場所	備考
PWU-1	増圧給水ポンプ	型式 周波数制御による推定水圧力一定制御 (逆圧逆流防止装置付)				1	1Fポンプ室	(参考型式)
		ウォールキャビネットタイプ (低騒音・防振架台内蔵)	3Φ 200V	1.5	直入			WC2-40DFC402-1.5D-GSH
		40Φ x 156 ℓ/min x 280KPa						コンクリート基礎150H
		制御盤 (進相コンデンサー, ポンプ故障, 漏電遮断器, ユニット漏電, ACリアクトル)						(建築工事)
DP-1	雑排水ポンプ	型式 排水用セミボルテックス水中ポンプ (樹脂製) 自動交互非常同時運転				1組	ピット内	
		50Φ x 100 ℓ/min x 70KPa x 2台 自動型	1Φ 100V	0.4x2	直入			
		水中ケーブル10m, フロートスイッチ						
		※排水ポンプ本体, 配管支持金具類は防錆措置を施す。						
GB-1	ガス給湯器水栓	型式 PS屋内設置型 (排気延長型)				21	各住戸	
		給湯能力 24号相当品 フルオートタイプ	1Φ 100V	180W	直入			
		ガス消費量 5,000~45,000Kcal/h						
		循環強制機能付, メイン・サブリモコンスイッチ, リモコン配線共他付属品一式						

品名	型番	付属品	階	共用 外構 屋外	共用 外構	共用 1F ゴミ置場	共用 1F 給水ポンプ室		3LDK 21戸		共用廊下		合計
			3F						7				
			2F						7				
			1F						7				
			B1F										
			計						21				21
浴槽設備(Gトラップ)	CS80B	SH91BA, TC274, YH55 ストレーナー付止水栓							21				21
洗面化粧台		建築工事 (ストレーナー付止水栓本工事)							21				21
ユニットバス		建築工事							21				21
洗濯機パン		建築工事							21				21
ミニキッチン		建築工事							21				21
流し混合水栓		建築 (キッチン) 工事, 止水栓x2 (本工事)							21				21
洗濯機単水栓	TW10G	緊急止水弁, ウォーターハンマー防止機能付							21				21
キー式排水栓	T26KH13	水栓柱600H共 (プラスチック製)				1							1
掃水栓	T26H13						1						1
散水栓		水栓柱		5								3	8

ガス事業法第40条の4の規定が適用される機器がある場合は機器を明記してください。
(屋内に設置する給湯器等が対象となります。)
明示事項：342～344　　※別途図書として機器設置場所 (平面図・明示事項：337～339)
排気筒高さ等 (断面図・明示事項：340、341) を添付してください。

記号	機器名称	仕様	電気 相電圧	電気 KW	電気 起動	台数	設置場所	備考 参考型番 (以下)
F-1	排気ファン	型式 レンジフードファン ブース型				21	各住戸 台所	(建築工事)
		150Φ x 400m³/h x 100Pa	1Φ 100V	103W	直入			
		グリスフィルター共, 逆流防止シャッター付						
F-2	浴室乾燥機	型式 電気式浴室換気乾燥機 (3室用) 24時間換気システム)				21	各住戸 UB	
		100Φ x 160m³/h x 130Pa(強) 最大消費電力	1Φ 100V	1400W	直入			
		24時間時 100m³/h						
		コントロールスイッチ, 制御盤共, 逆流防止シャッター付						
共用部								
EF-1	排気ファン	型式 天井扇 (低騒音型)				1	1F ポンプ室	タイマー発停
		100Φ x 30m³/h x 80Pa	1Φ 100V	13W	直入			防振ゴム挟み込み
EF-2	排気ファン	型式 天井扇 (低騒音型)				1	1F メール室	タイマー発停
		150Φ x 100m³/h x 80Pa	1Φ 100V	24.5W	直入			防振ゴム挟み込み
EF-3	排気ファン	型式 天井扇 (低騒音型)				1	1F 管理室	タイマー発停
		100Φ x 100m³/h x 80Pa	1Φ 100V	20W	直入			防振ゴム挟み込み

ガス設備を追加 (3階以上の共同住宅の場合)

- ガス栓 (○○○)
  ねじ接合、接続具 (金属管・金属可とう管・金属線入り強化ゴムホース)
- ガス栓
  過流出安全機構 (○○○)
- ガス漏れ警報器 (○○○○)

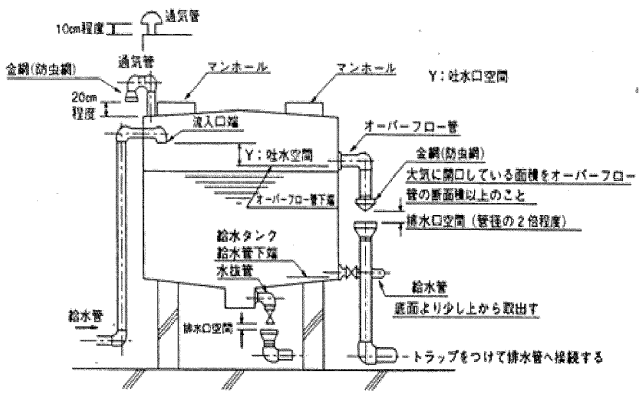
明示事項：220・221・227

給水タンク等の位置及び構造
明示事項：211

建築物内の給水タンク等の周辺の状況
明示事項：212

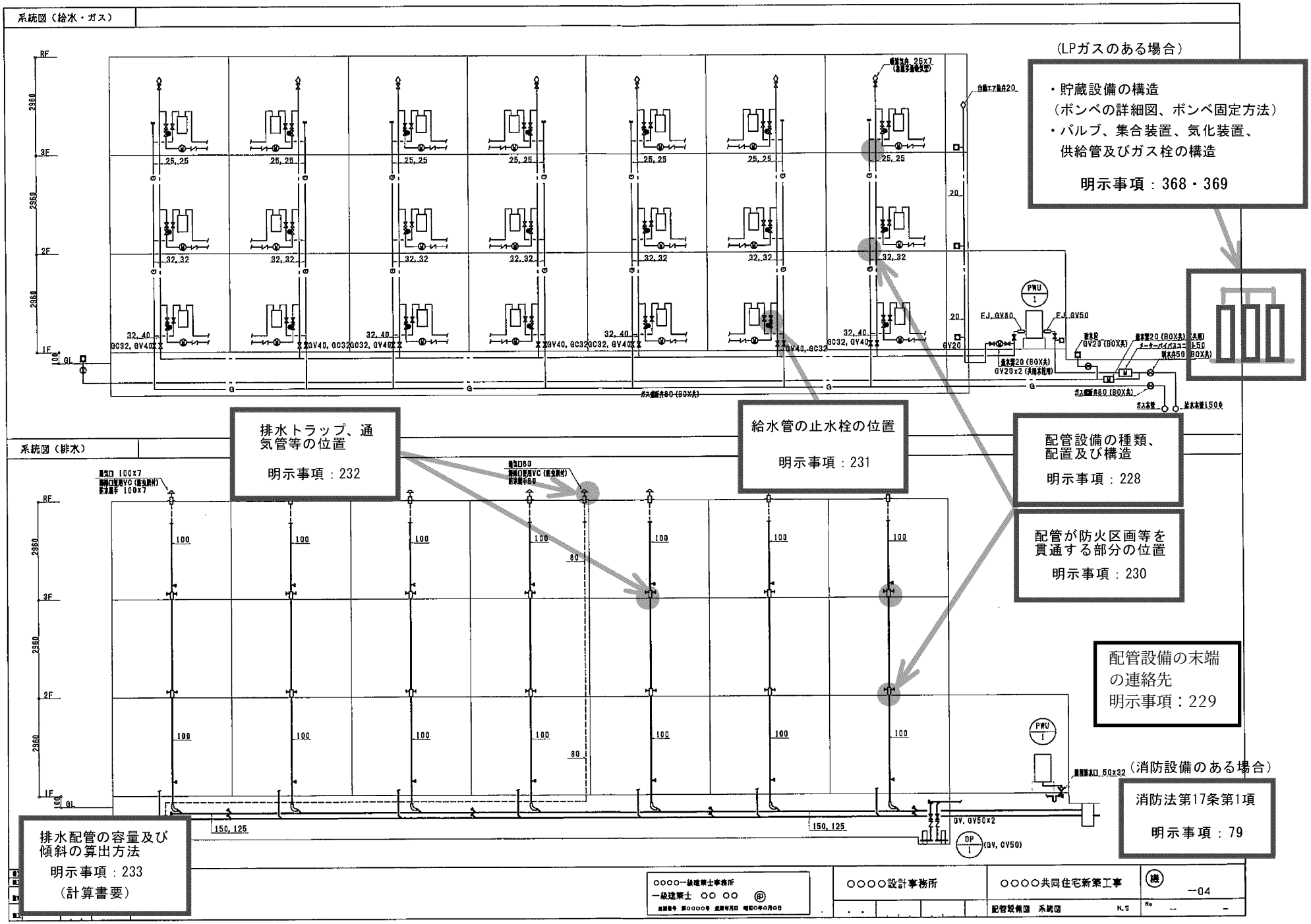
給水タンク等の構造
明示事項：224

(受水槽を設置する場合)



【給水タンク等に設置するオーバーブロー管及び通気管の設置例】

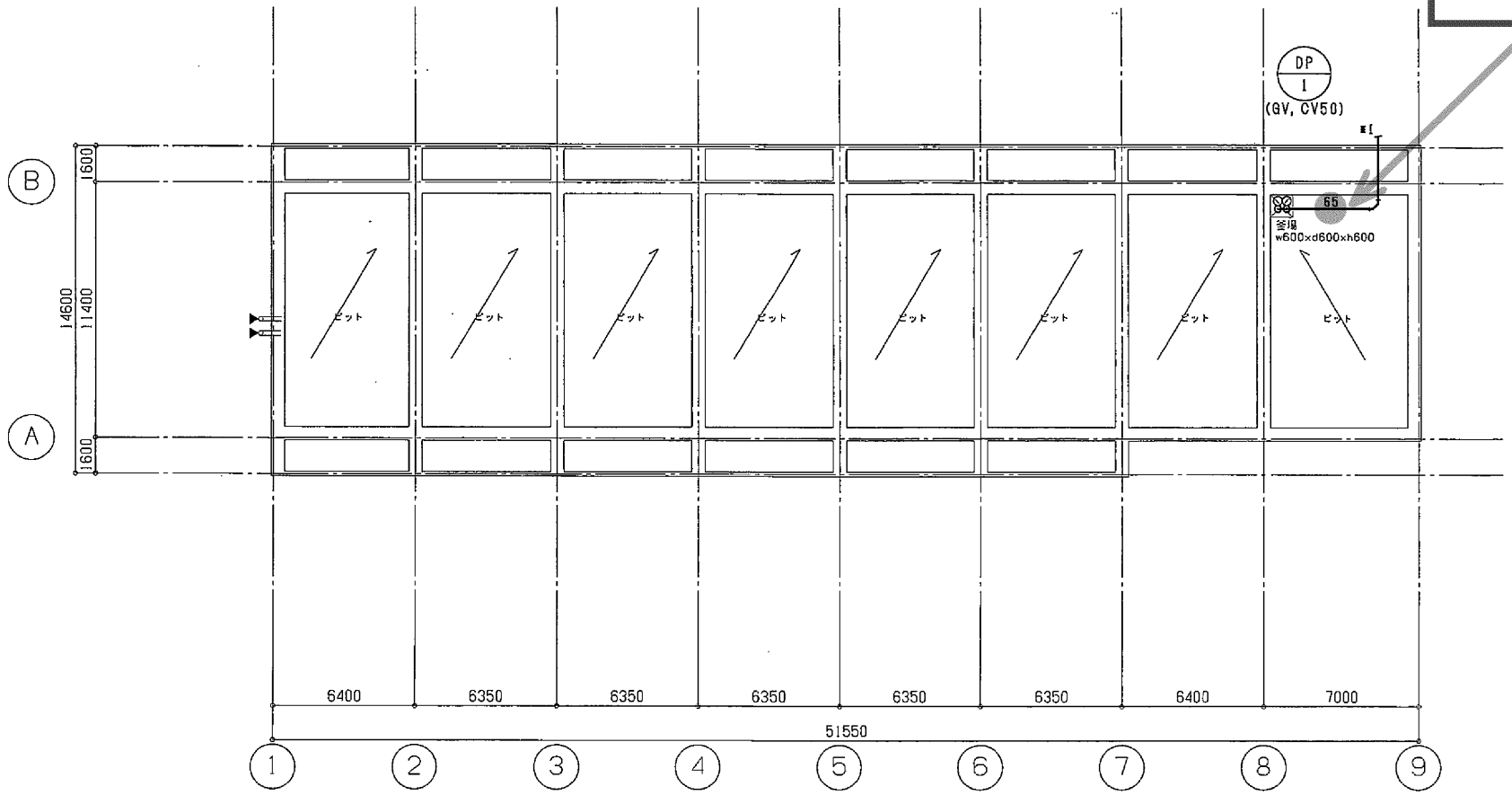
一級建築士事務所 建築士 ○○ ○○ (甲) 第○○○○号 登録年月日 昭和○○年○月○日	○○○○設計事務所	○○○○共同住宅新築工事	(機) -03
		標準仕様図 (3) N.S	No - -


系統図（給水・ガス）
（LPガスのある場合）
・貯蔵設備の構造
（ボンベの詳細図、ボンベ固定方法）
・バルブ、集合装置、気化装置、
供給管及びガス栓の構造
明示事項：368・369
系統図（排水）
排水トラップ、通気管等の位置
明示事項：232
給水管の止水栓の位置
明示事項：231
配管設備の種類、配置及び構造
明示事項：228
配管が防火区画等を貫通する部分の位置
明示事項：230
配管設備の末端の連絡先
明示事項：229
（消防設備のある場合）
消防法第17条第1項
明示事項：79
排水配管の容量及び傾斜の算出方法
明示事項：233
（計算書要）
○○○○一級建築士事務所
一級建築士 ○○ ○○
○○○○設計事務所
○○○○共同住宅新築工事
配管設備図 系統図
N.S
−04

ピット階平面図

配管設備の種別及び配置

明示事項：205



設計			
監理			
施工			

○○○○一級建築士事務所
一級建築士 ○○ ○○ 印
登録番号 第○○○○号 登録年月日 昭和○年○月○日

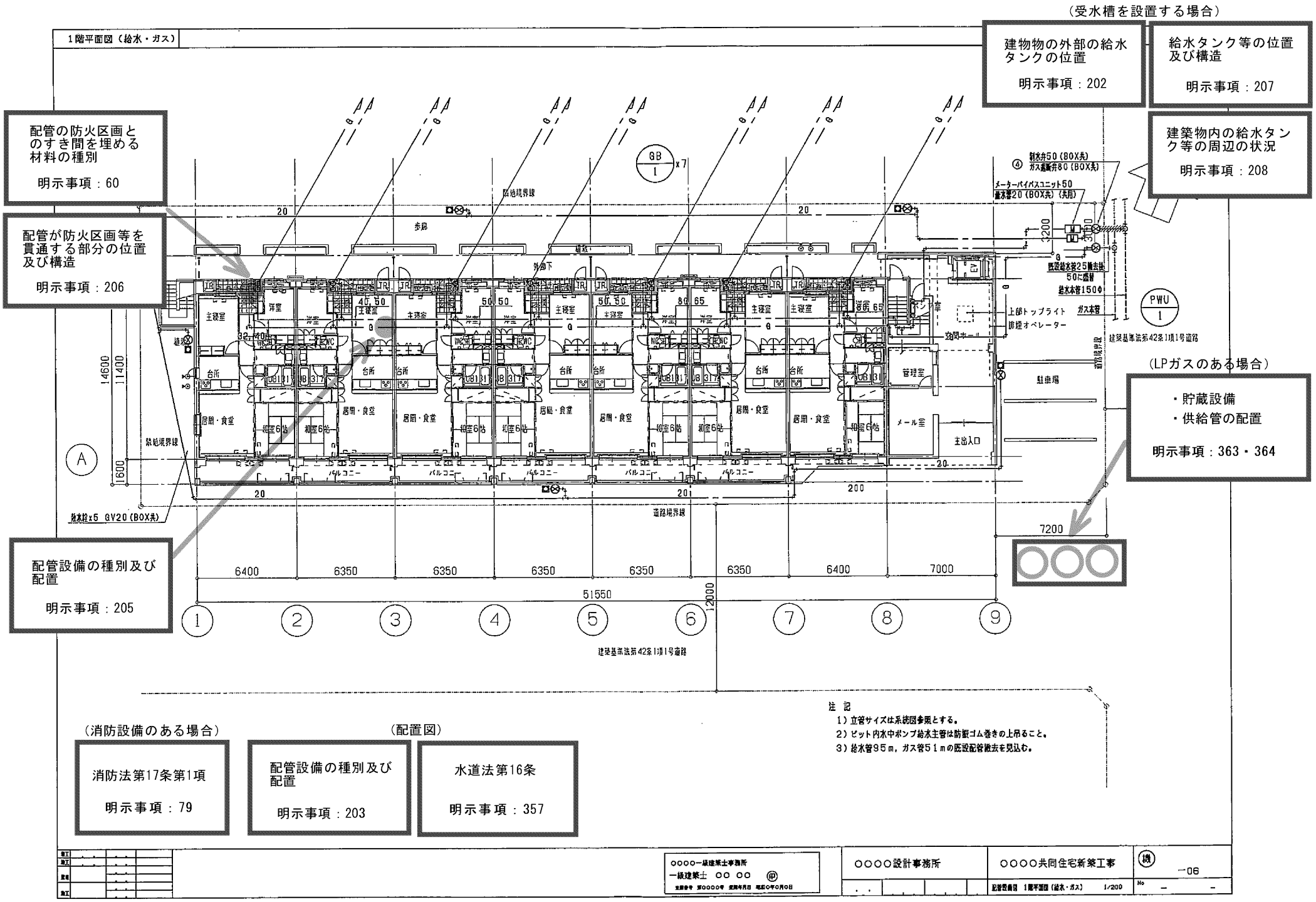
○○○○設計事務所

○○○○共同住宅新築工事

機 −05

配管設備図 ピット階平面図 1/200

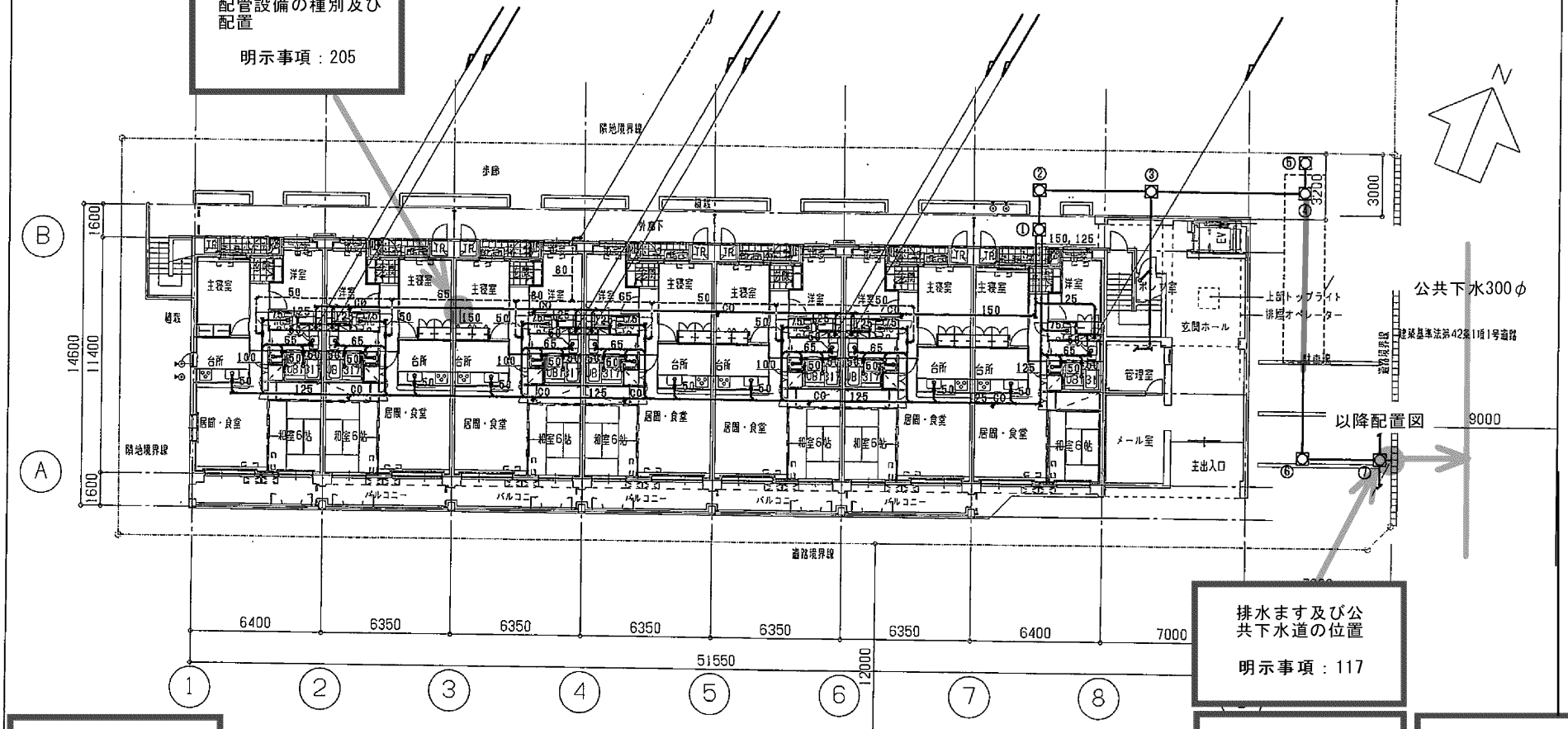
Ka − −


（受水槽を設置する場合）
建物物の外部の給水タンクの位置
明示事項：202
給水タンク等の位置及び構造
明示事項：207
建築物内の給水タンク等の周辺の状況
明示事項：208
配管の防火区画とのすき間を埋める材料の種別
明示事項：60
配管が防火区画等を貫通する部分の位置及び構造
明示事項：206
配管設備の種別及び配置
明示事項：205
（LPガスのある場合）
・貯蔵設備
・供給管の配置
明示事項：363・364
（消防設備のある場合）
消防法第17条第1項
明示事項：79
（配置図）
配管設備の種別及び配置
明示事項：203
水道法第16条
明示事項：357
1階平面図（給水・ガス）
注記
1）立管サイズは系統図参照とする。
2）ピット内水中ポンプ給水主管は防振ゴム巻きの上吊ること。
3）給水管95m，ガス管51mの既設配管撤去を見込む。
○○○○設計事務所
○○○○共同住宅新築工事
配管設備図 1階平面図（給水・ガス） 1/200

1階平面図（排水）

配管設備の種別及び配置

明示事項：205



排水ます及び公共下水道の位置

明示事項：117

排水配管の容量及び傾斜の算出方法

明示事項：233

（計算書要）

下水道法第10条第1項

明示事項：359・360

下水管の位置及び排水経路

明示事項：381

（消防設備のある場合）

消防法第17条第1項

明示事項：79

（配置図）

配管設備の種別及び配置

明示事項：203

（設置する場合）

阻集器の位置

明示事項：226

桝リスト

記号	名称	寸法	管底基準（設計GL）	桝深さ（NGL）	蓋の仕様	備考
①	汚水桝	600 x 600	800	800	鋳鉄・防臭・中蓋	インバート
②	汚水桝	600 x 600	820	820	鋳鉄・防臭・中蓋	インバート
③	汚水桝	600 x 600	870	870	鋳鉄・防臭・中蓋	インバート
④	汚水桝	600 x 600	950	950	鋳鉄・防臭・中蓋	インバート
⑤	汚水桝	600 x 600	970	970	鋳鉄・防臭・中蓋	インバート
⑥	汚水桝	600 x 600	400	400	鋳鉄・防臭・中蓋	インバート
⑦	汚水桝	600 x 600	440	440	鋳鉄・防臭・中蓋	インバート

注記

1）立管サイズは系統図参照とする。
2）ピット内水中ポンプ排水管は防振ゴム巻きの上吊ること。
3）排水管200Φ・89mの既設配管撤去を見込む。
4）排水管勾配は1/100以上確保すること。

○○○○一級建築士事務所 一級建築士 ○○ ○○	○○○○設計事務所	○○○○共同住宅新築工事	縮
		配管設備図 1階平面図（排水） 1/200	No. — -07

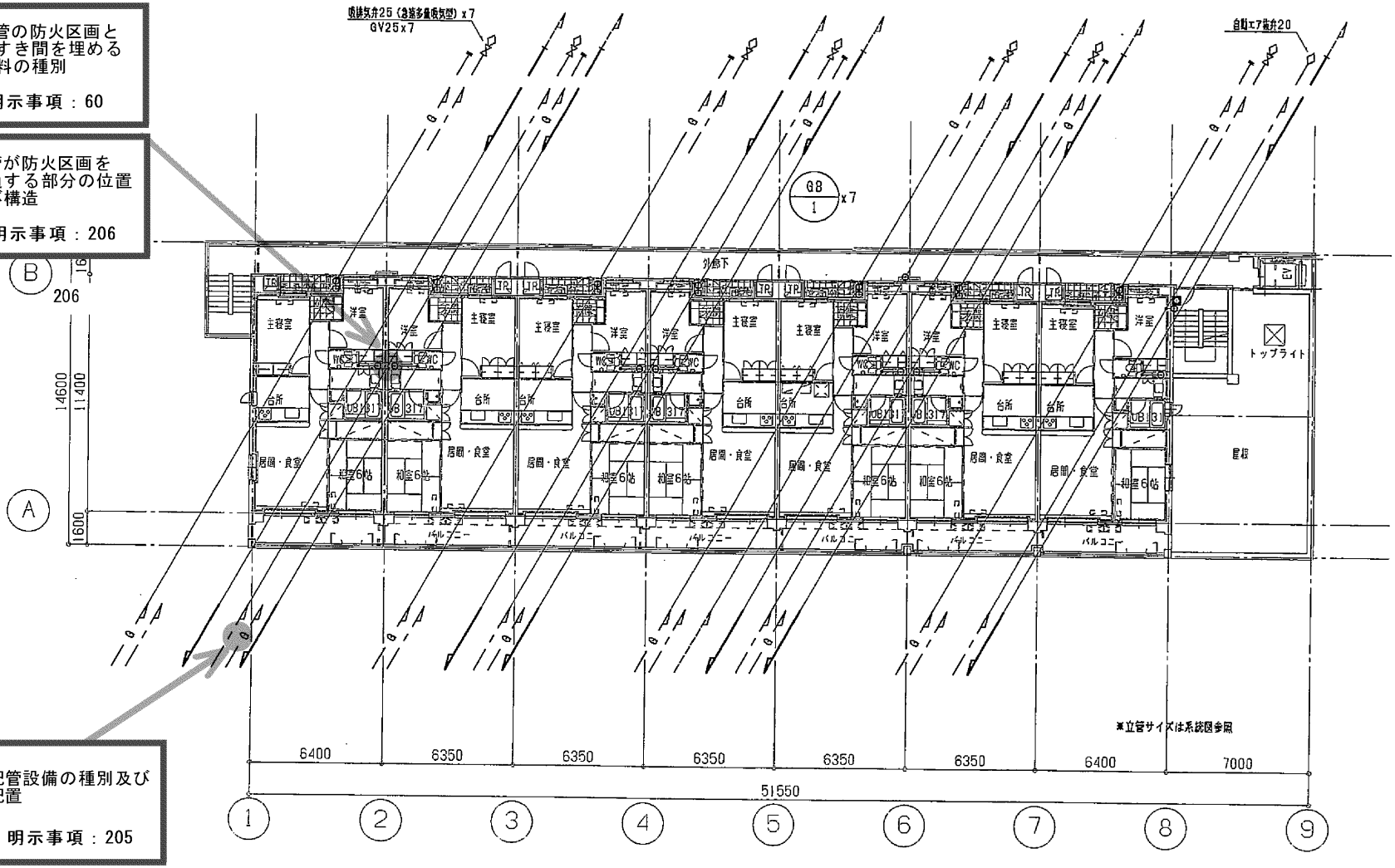
2・3階平面図

配管の防火区画とのすき間を埋める材料の種別

明示事項：60

配管が防火区画を貫通する部分の位置及び構造

明示事項：206



配管設備の種別及び配置

明示事項：205

（消防設備のある場合）

消防法第17条第1項

明示事項：79

○○○○一級建築士事務所
一級建築士 ○○ ○○

○○○○設計事務所

○○○○共同住宅新築工事

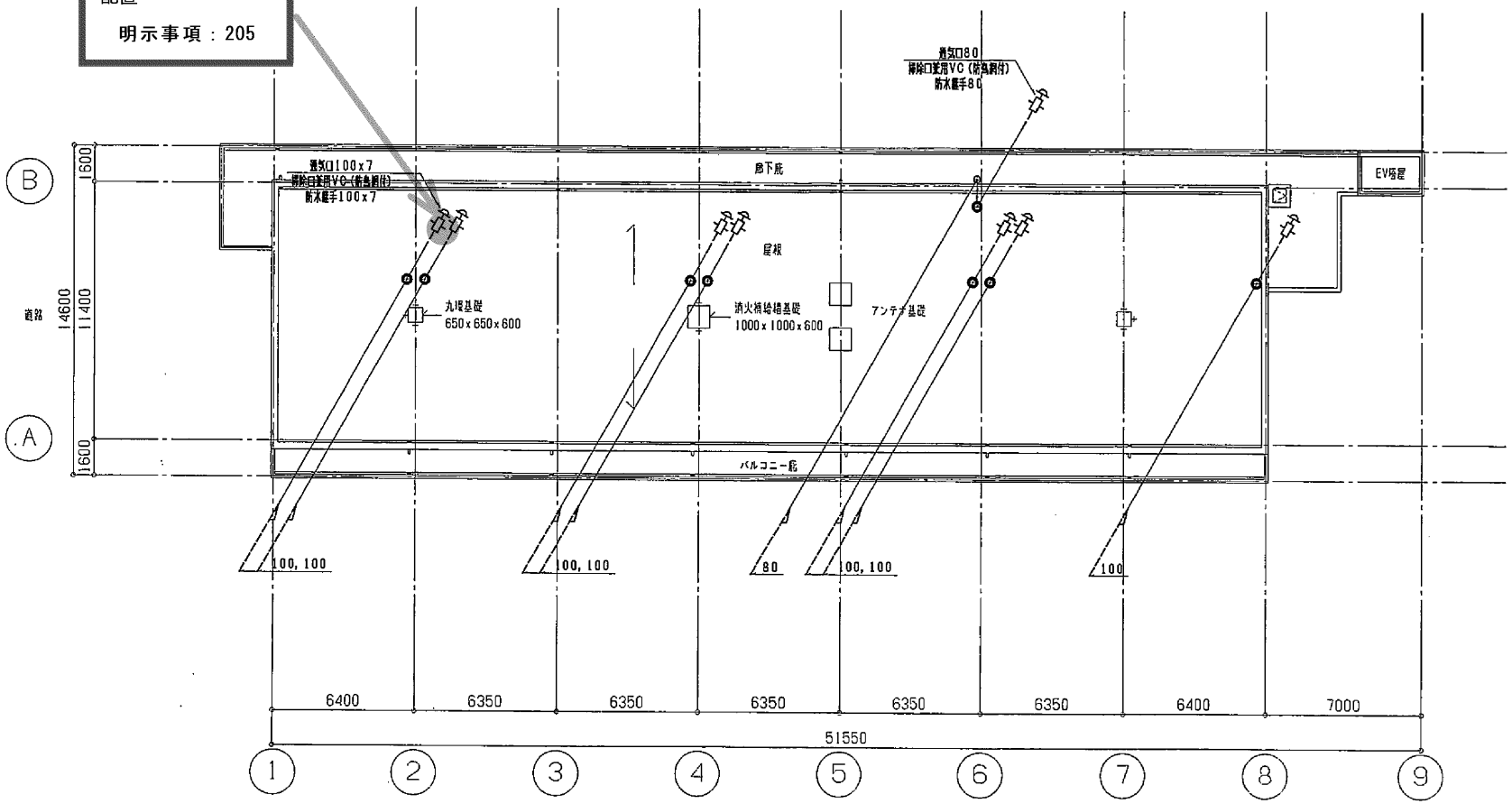
配管設備図 2・3階平面図 1/200

−08

屋根伏図

配管設備の種別及び配置

明示事項：205



（設置のある場合）

屋上から突出する水槽、煙突等の構造計算の基準

明示事項：1

（消防設備のある場合）

消防法第17条第1項

明示事項：79

○○○○一級建築士事務所
一級建築士 ○○ ○○ ㊞

○○○○設計事務所

○○○○共同住宅新築工事

配管設備図 屋根伏図 1/200

No. 一09

住戸詳細図

（給湯器）

昇降機以外の建築設備の構造方法

明示事項：183

ガス事業法第40条の4

明示事項：337・338

ガス漏れ警報設備（設置する場合）

明示事項：209

（電気配線の構造は電気設備図による）

明示事項：129

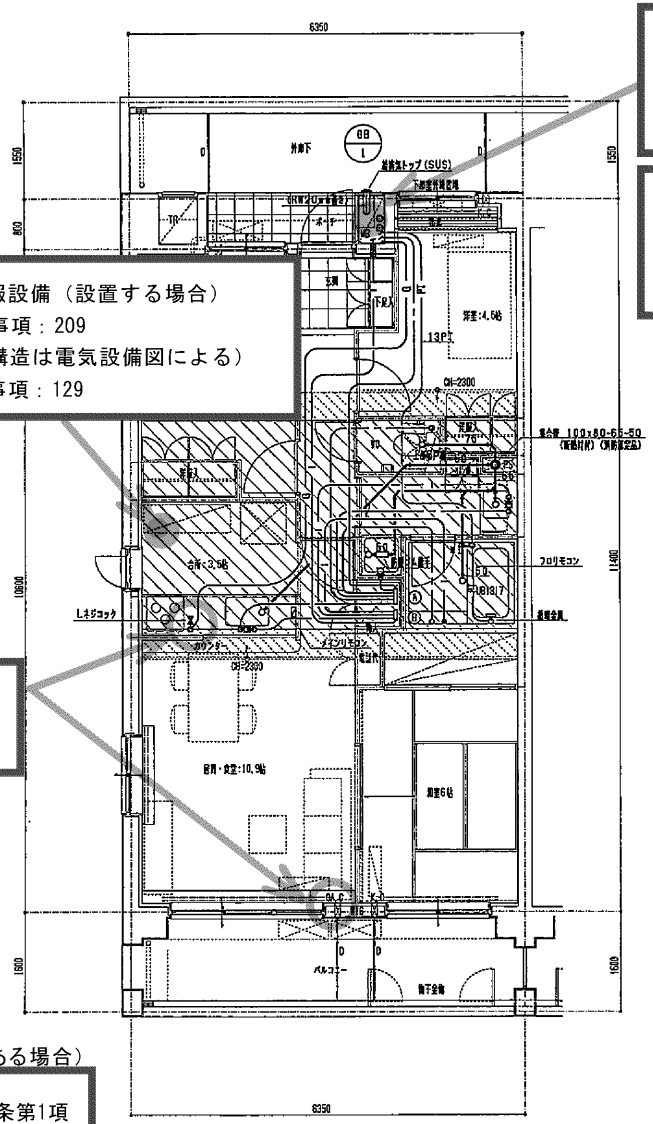
ガス栓の位置

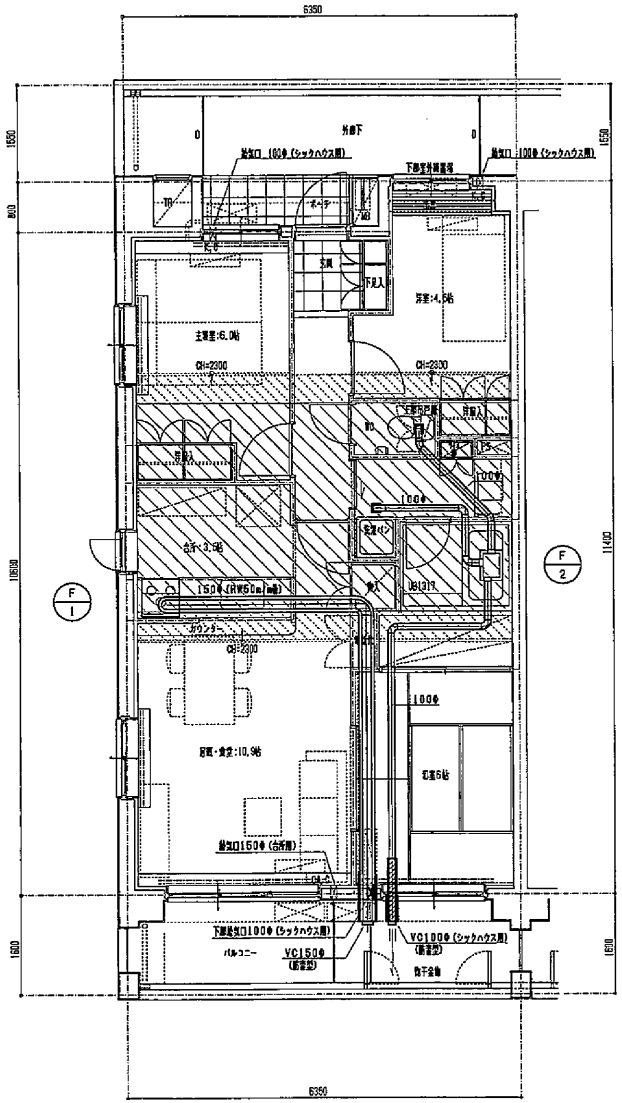
明示事項：209

（消防設備のある場合）

消防法第17条第1項

明示事項：79





○○○○一級建築士事務所
一級建築士　○○　○○

○○○○設計事務所

○○○○共同住宅新築工事

配管設備図・機械換気設備図　住戸詳細図 1/80

-10